



■ コンセプトを実現するためのテーマ及び整備方針

1

多様な学びを育み、児童が安心して楽しく過ごせる魅力のある学校

整ったCR(普通教室)で落ち着いて学習

- 適度な教室室面積と十分な収納スペースにより教室環境が整い、児童が落ち着いて学習に専念できる環境をつくります。

多様な学習形態や集団による活動が可能となる学習環境

- 学年集会が行える広さの多目的ルームを適切に設け、複数のクラスでフロアを伸びやかに使える計画とします。
- 多目的ルームや少人数教室により、総合的な学習や調べ学習、習熟度別学習など多様なスタイルで学習が行える環境を整備します。

全ての児童が自分の居場所を見つけられる学校

- 特別支援学級、国際教室、フリールーム(校内教育支援教室)、リソースルームなど様々な教育的ニーズに沿った指導が機能的に行えるような教室配置や室内環境を整備します。

2

自然と共生できる空間と、木のぬくもりが感じられる学校

木材を活用してあたたかみのある室内環境整備

- 内装材に木材を利用することで、あたたかみを感じられ、調湿作用により湿度が良好に保たれるなど、快適な室内環境を整備します。
- 使用する木材は、本市産木材又は神奈川県産材の導入に努めます。

自然と共生できる外構計画

- 西棟跡地を活用し、シンボルツリー、花壇や学園菜園など自然と共生できる「学びの広場」として整備します。
- 敷地内のアプローチ道に沿って「みど小ガーデン」を設け、自然に触れあう環境をつくります。

環境教育の教材となるエコスクール

- 太陽光パネルの発電量を表示するモニターやエネルギー使用量の可視化などにより、自ら省エネルギー活動の効果を体感できるエコスクールを目指します。

3

学年間の交流や地域と児童の交流の場となり、学校と地域が協働して児童を育む学校

憩いの空間づくり

- CRや多目的ルーム近くにDENを設け、児童が自然と集まり憩える空間を創出します。集まる児童の幅広い交流により社会性や人間性の育成にも働きかける計画とします。
- 吹抜けのあるDENは開放的で、上下階の連続性を創出するとともに、自然採光や通風を取り入れることで、光や風の流れる安全衛生的な環境をつくります。

地域みんなで子どもを守る地域に開いた安全な学校づくり

- 家庭・地域・学校のつながりを一層深め、地域と学校の一体的推進を図り、地域全体で未来を担う子どもの健全育成を図るため、地域連携施設を整備します。

防災拠点としての役割

- 南棟1階に防災備蓄倉庫を設けるなど防災機能を向上させ、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たす計画とします。

地域に必要とされる学校

- 地域コミュニティの場として地域連携施設が使用しやすいよう、夜間や休日などの利用も想定し、学校とのセキュリティを考慮し整備します。

1-(2)計画概要・現況写真

敷地概要

住居表示	神奈川県厚木市緑ヶ丘4-1-1
地名地番	神奈川県厚木市緑ヶ丘4丁目1番2
敷地面積	20,551.65㎡
都市計画区域	市街化区域
用途地域	第一種中高層住居専用地域
前面道路	42条1項1号 南東側市道:13m
建ぺい率	60%+10%(角地緩和)
容積率	200%
防火地域	準防火地域
斜線制限	道路斜線1.25/1、隣地斜線1.25/1 H=20m
日影制限	高さ10m超:4時間-2.5時間-4m

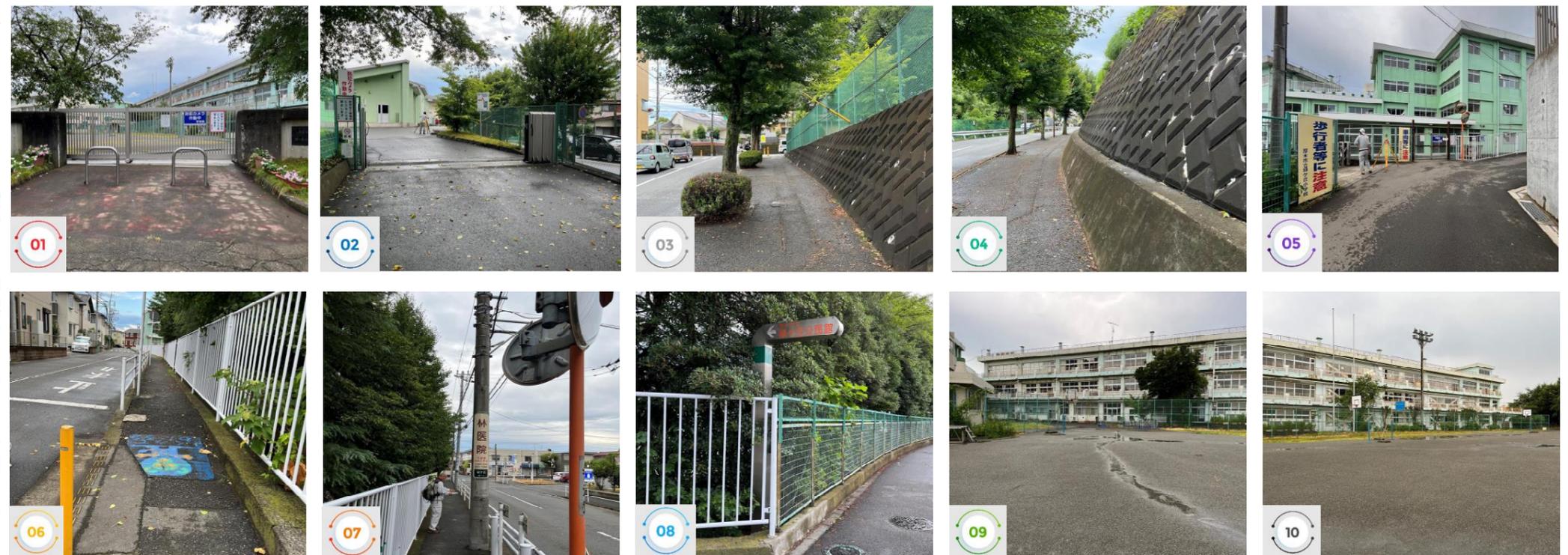
施設概要(今回計画建物)

施設用途	小学校	建築面積	1,950.98㎡
階数	地上3階	延床面積	5,351.49㎡
構造	鉄筋コンクリート造	最高高さ	13.25m
耐火種別	耐火建築物		

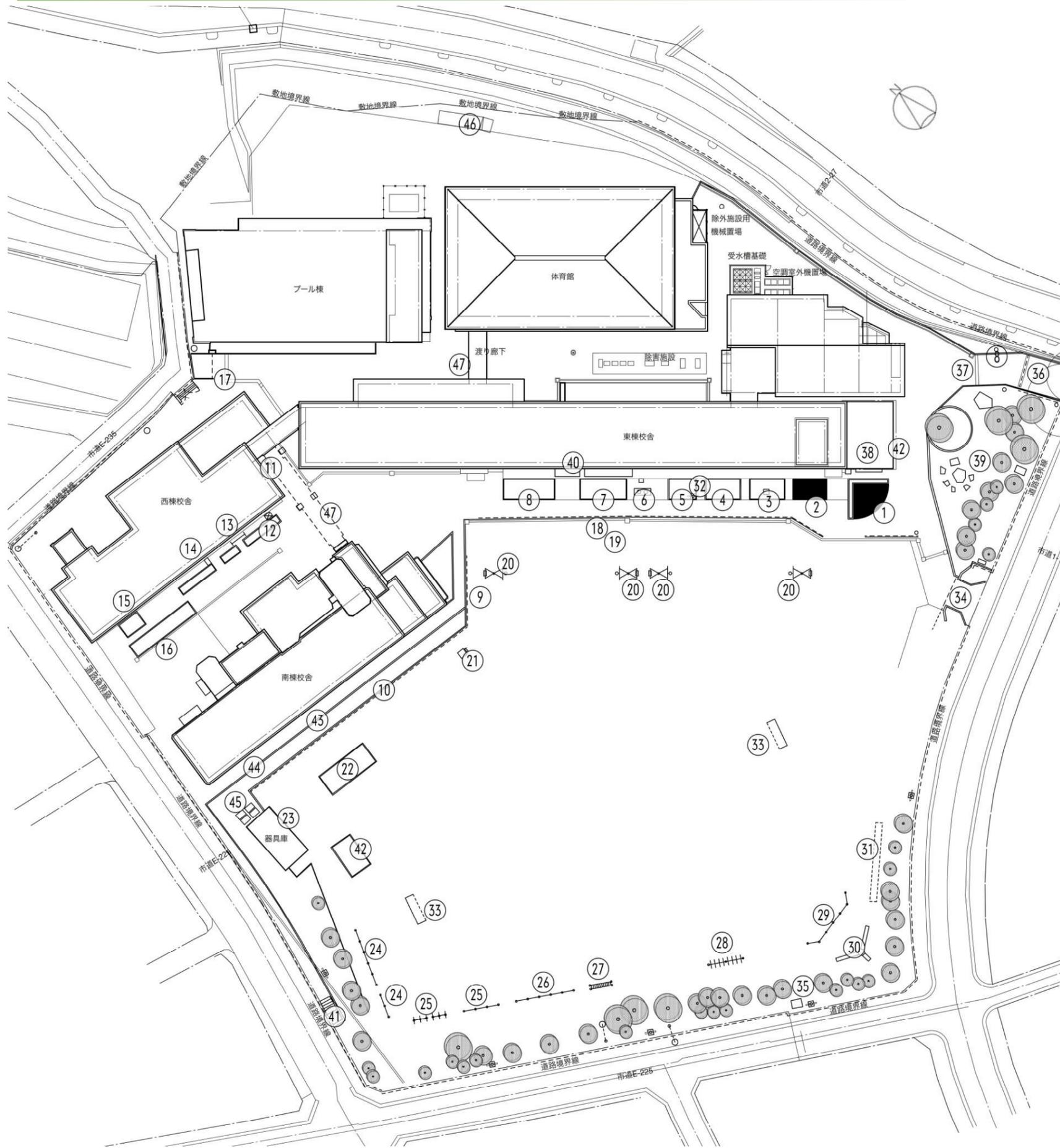
案内図



敷地写真



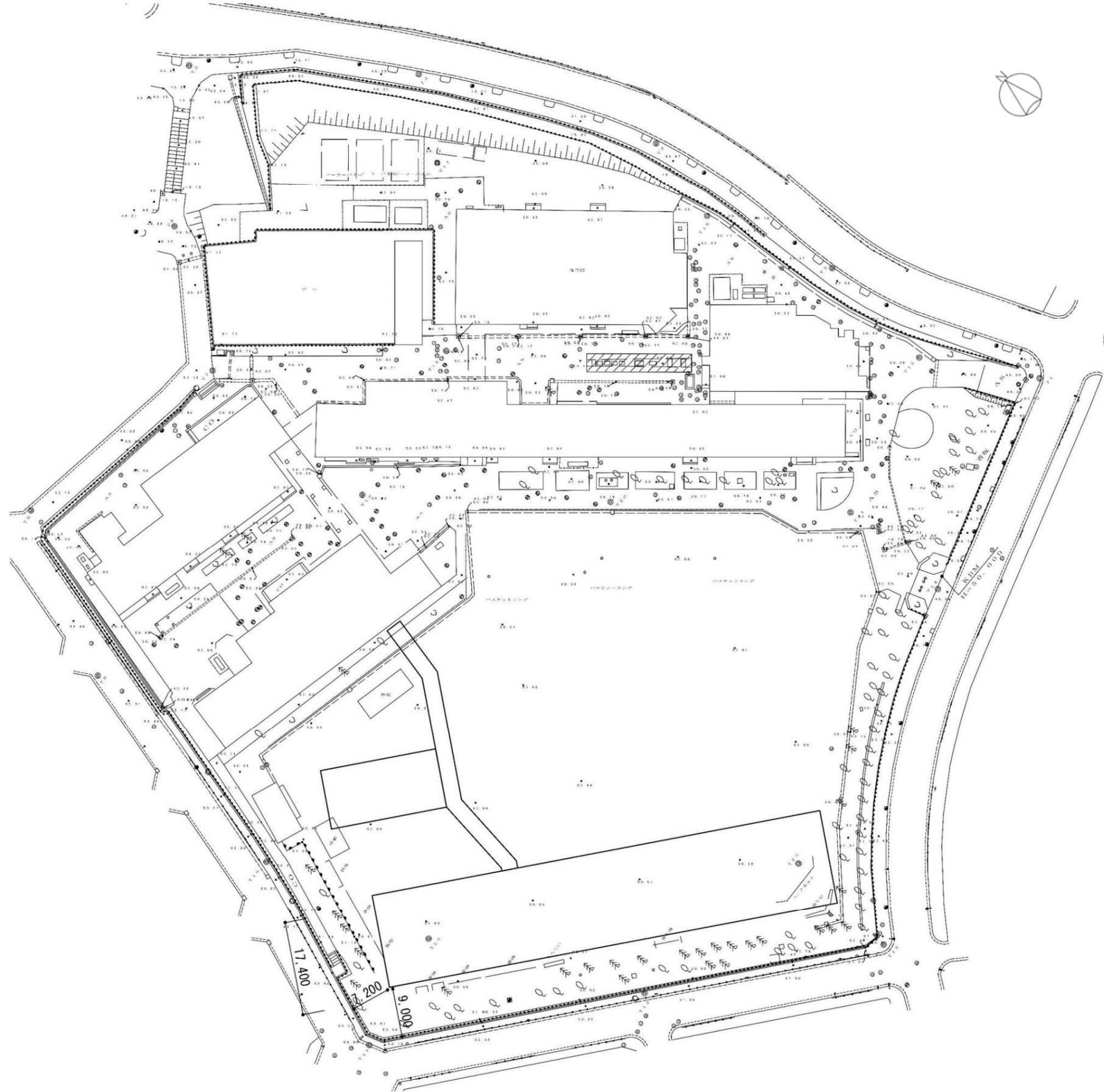
1-(3)現況調査図



緑ヶ丘小学校 屋外リスト

No.	名称	移設など	備考
1	みど小ガーデン	撤去新築	解体工事にて撤去(銘板移設)
2	夜間照明操作盤	撤去	解体工事にて撤去
3	銅像	移設	
4	樹木	撤去	解体工事にて撤去
5	花壇	撤去新築	
6	百葉箱・ポール	移設	
7	花壇	撤去新築	
8	樹木x2	移設	記念樹桜
9	ネットフェンス	既存のまま	
10	ネットフェンス	既存のまま	
11	物置・木製棚	移設	奥行が1m未満計画通知不要・木製棚は解体工事にて撤去
12	竹ぼうき立て	移設	
13	物干し	移転	仮設校舎保健室に移転
14	外流し	撤去	
15	室外機	一部再利用	既存南棟でエアコンがない部屋へ転用
16	単管	移設	
17	北門	既存のまま	
18	マイクジャック	移設新築	仮設校舎工事で移設後、新築
19	ネットフェンス	撤去	
20	バスケット	撤去新築	仮設校舎工事
21	朝礼台	移設	
22	砂場	既存のまま	
23	器具庫	既存のまま	計画通知提出済、完了検査不明、面積不不正合
24	鉄棒	撤去新築	仮設校舎工事
25	鉄棒	撤去新築	仮設校舎工事
26	鉄棒	撤去新築	仮設校舎工事
27	鉄棒	撤去新築	仮設校舎工事
28	登り棒	撤去新築	仮設校舎工事
29	バックネット	撤去新築	仮設校舎工事
30	滑り台	撤去新築	仮設校舎工事
31	タイヤ	撤去新築	仮設校舎工事
32	夜間照明	撤去	6基中1基解体工事にて撤去
33	サッカーゴール	既存のまま	
34	正門ゲート	撤去新築	
35	夜間用物置	撤去	担当部署で撤去
36	通用門	撤去新築	建替えに伴い、やり替え
37	外構	撤去新築	
38	タイル造作	撤去	学校から卒業生に声掛け、必要な人にとって帰って貰う残ったのは撤去
39	岩石園	移設	
40	外流し	撤去	
41	西側階段	既存のまま	
42	外流し	撤去	
43	44 樹木	既存のまま	
45	サッカーゴール	移設	
46	防災倉庫x2	撤去	【計画通知未提出】撤去が必要
47	渡り廊下x2	撤去	解体工事にて撤去

棟名	構造	階数	延床面積	建築年度	築年数	目標耐用年数	更新時期
東棟	RC	地上3階	2,832.04㎡	S40(1965)	58	60	R 7(2025)
西棟	RC	地上4階	2,177.00㎡	S45(1970)	54	60	R12(2030)
南棟	RC	地上4階	2,225.34㎡	S54(1979)	44	80	R41(2059)
体育館	RC	地上2階	886.59㎡	S56(1981)	42	80	R43(2061)
調理場	RC	地上1階	409.97㎡	H16(2004)	19	80	R69(2087)



凡例

	既存建築物
	無壁舎
AS IL	アスファルト舗装 インターロッキング舗装
CO G	コンクリート舗装 砂利敷
	コンクリート壁
	土留ブロック
	U字溝
	L字溝
	法面
	ブロック壁
	フェンス・さく
F (駐)	消火栓・駐車場
汚合雨	下水孔 (汚水・合流・雨水)
E	人孔(電気)
G M 水	人孔 (ガス・マンホール・水道)
電柱	電柱
信号灯	信号灯
交通標識	カーブミラー 交通標識
田 畑	田・畑
樹木	樹木
竹林・庭園	竹林・庭園
荒地・生垣	荒地・生垣
花壇・標識	花壇・標識
防犯灯・照明灯	防犯灯・照明灯
◎ T1	多角点
• 25.00	地盤高

凡例

筆界点	境界標の種類
田	コンクリート杭
□	金属プレート
⊕	金属鋏
◎	測量基準点

1-(5)外観イメージ (正門より)

■ 外観計画基本方針

- ・ 緑ヶ丘小学校は緑豊かな閑静な住宅街に位置し、地域に親しまれる学校です。既存は通用門から正門へと桜の木があり敷地北側のさくら公園と一体に季節を楽しむことができます。
- ・ 建替え計画にあたり、通用門周りは交通安全性を高めるために新たな学校の正門としてロータリー計画を行い、児童と地域の安全に配慮します。校舎は低層の3階建てとし、地域への環境の変化が起こらない様配慮します。



※実際は歩道と敷地境界線上に既存フェンスがあります



1-(6)内観イメージ

■ 多目的スペースのイメージ



■ 多目的ルームのイメージ

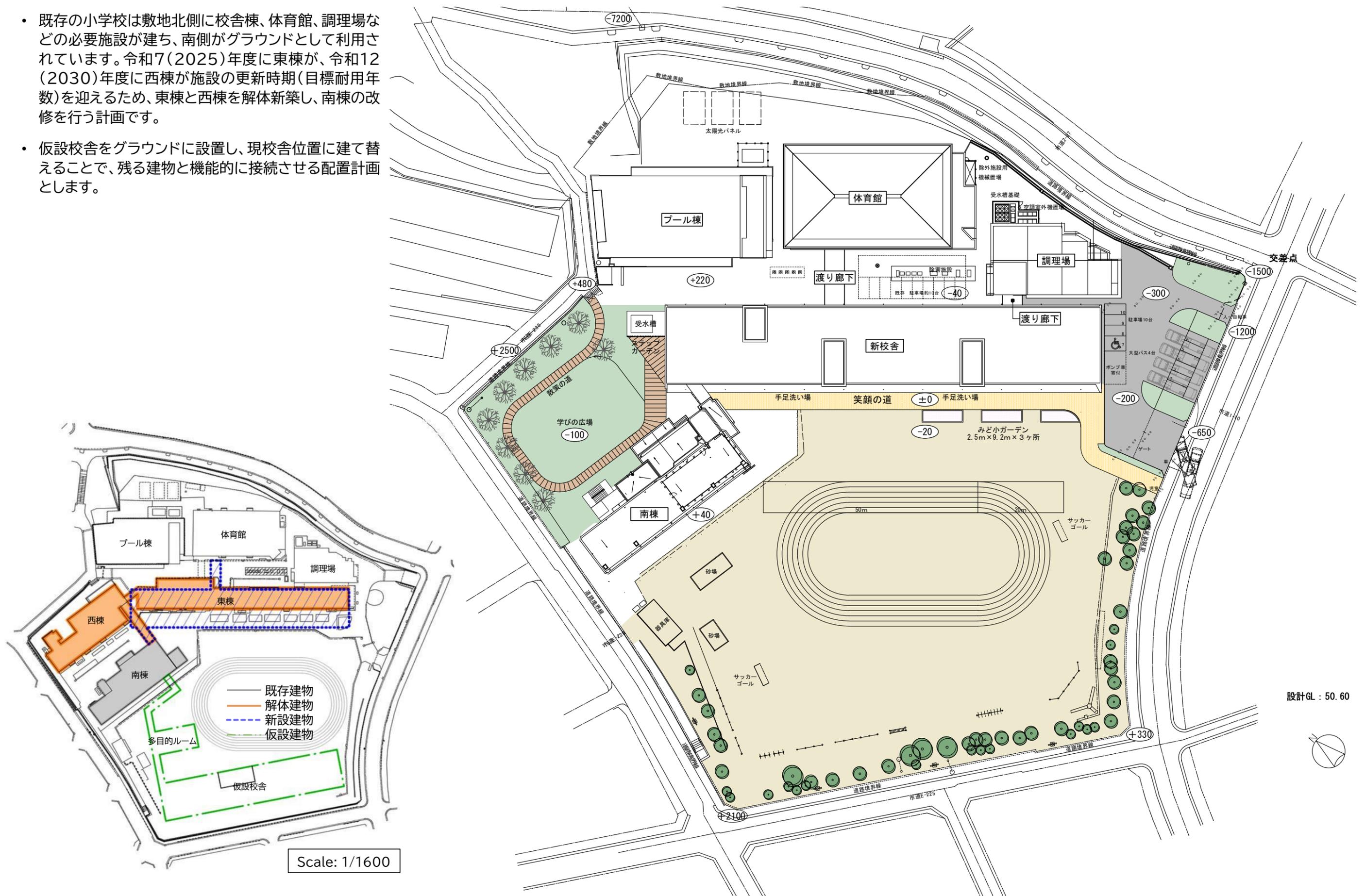


■ DENのイメージ



2-(1)配置計画

- 既存の小学校は敷地北側に校舎棟、体育館、調理場などの必要施設が建ち、南側がグラウンドとして利用されています。令和7(2025)年度に東棟が、令和12(2030)年度に西棟が施設の更新時期(目標耐用年数)を迎えるため、東棟と西棟を解体新築し、南棟の改修を行う計画です。
- 仮設校舎をグラウンドに設置し、現校舎位置に建て替えることで、残る建物と機能的に接続させる配置計画とします。



2-(2)平面計画

①児童の学ぶ力を育むゾーニング(2F、3F)

余裕教室を除きCR(普通教室)は、良好な学習環境を確保するため、全て南面に配置します。

1フロアの中央に多目的ルームを配置し、様々な学習形態に柔軟に対応でき学年集会が行える広さとしします。

教室の間に設けたDENは、他学年交流や児童の居場所となる空間づくりとします。

みんなのモール(廊下)によって、CRや多目的室、少人数教室、DENがつながり、基本となる生活の場・学習の場を整備します。

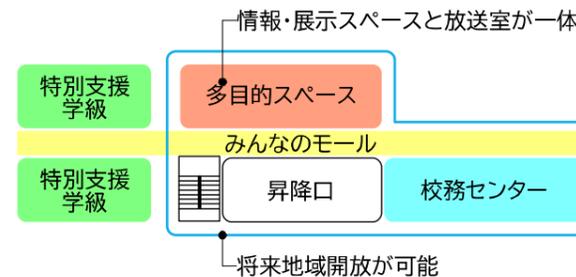


■みんなのモールでつながる2・3Fゾーニング図

②学校の中心に設けた 多目的スペース(1F)

児童・教職員・来校者の玄関を昇降口として1カ所にまとめ、正面に多目的スペースを配置し、新たな学校の顔づくりを行います。

特別支援学級からも利用しやすく、地域への開放も可能な、誰もが使いやすく学習意欲を高める多目的スペースとして整備します。



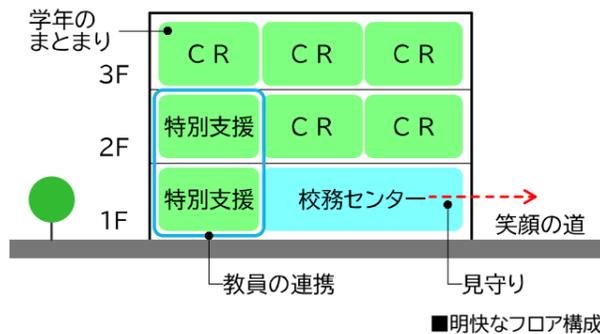
■中心に多目的スペースを設けた1Fゾーニング図

③明快なフロア構成

CRは全て同じ設えとし、校舎中央に多目的ルームを配置することで、成長段階に関わらず、どの学年でも等しく学ぶことができる計画とします。

特別支援学級は2フロア構成とし、近くに階段を設けることで、教員の連携が図れる計画とします。

校務センターは、昇降口に隣接し校門やグラウンドが見渡せる配置とし、児童の安全と安心を守る計画とします。



■明快なフロア構成



■みんなのモールでつながる断面ゾーニング図

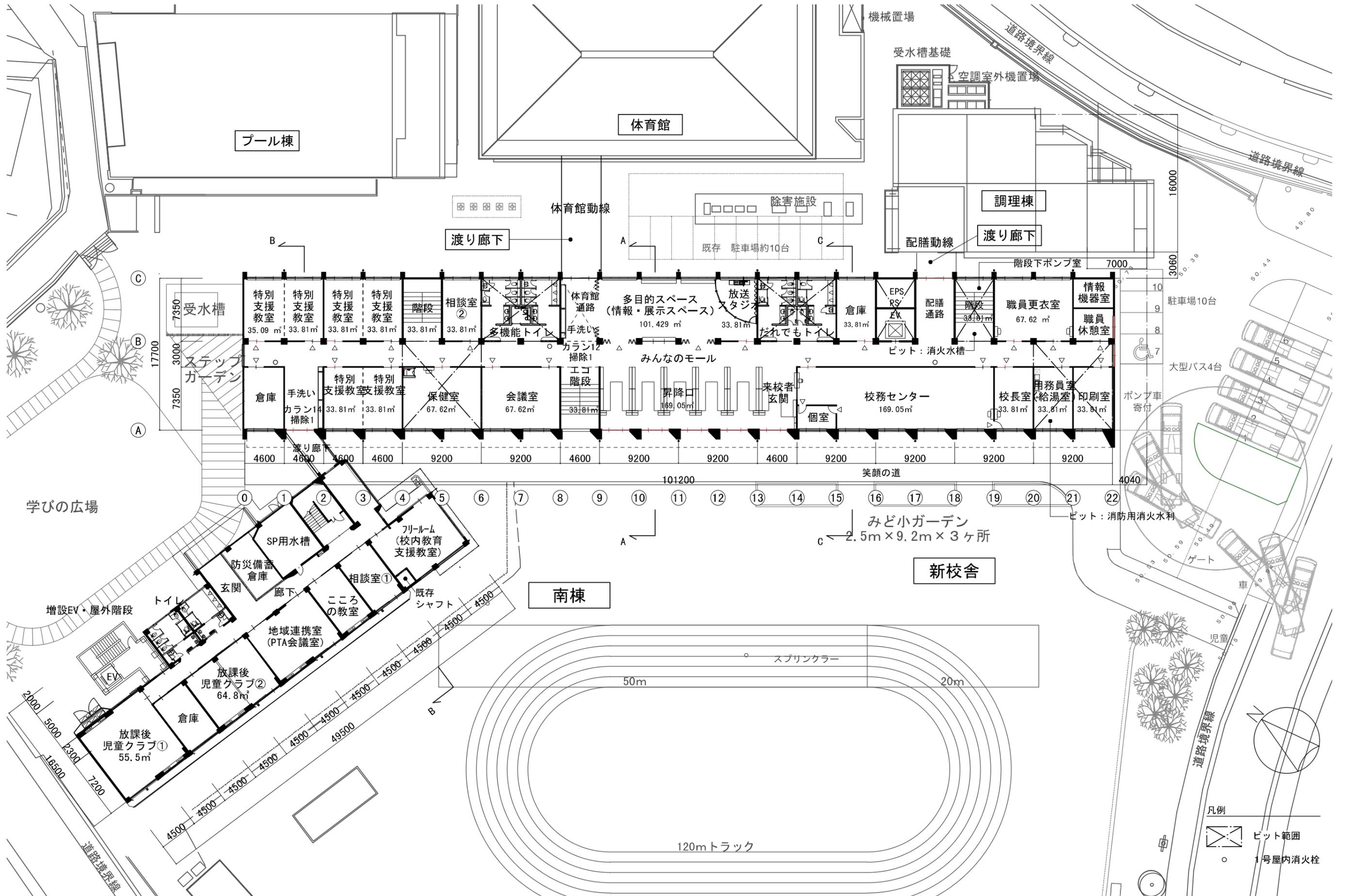


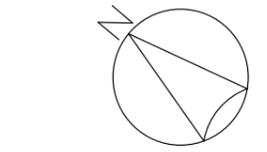
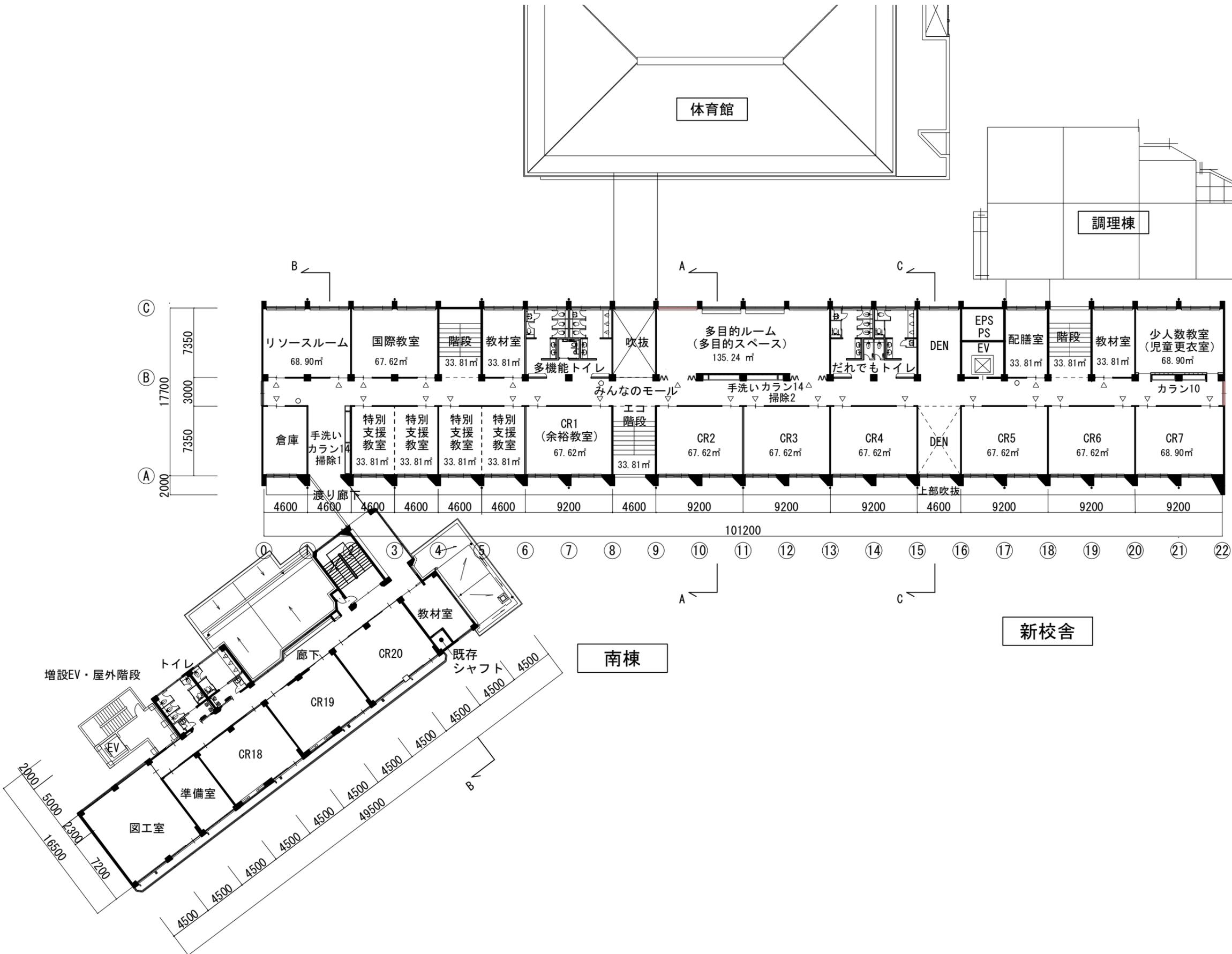
■3階・4階平面図 Scale: 1/800

■2階平面図 Scale: 1/800

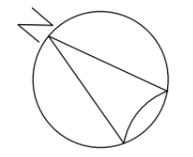
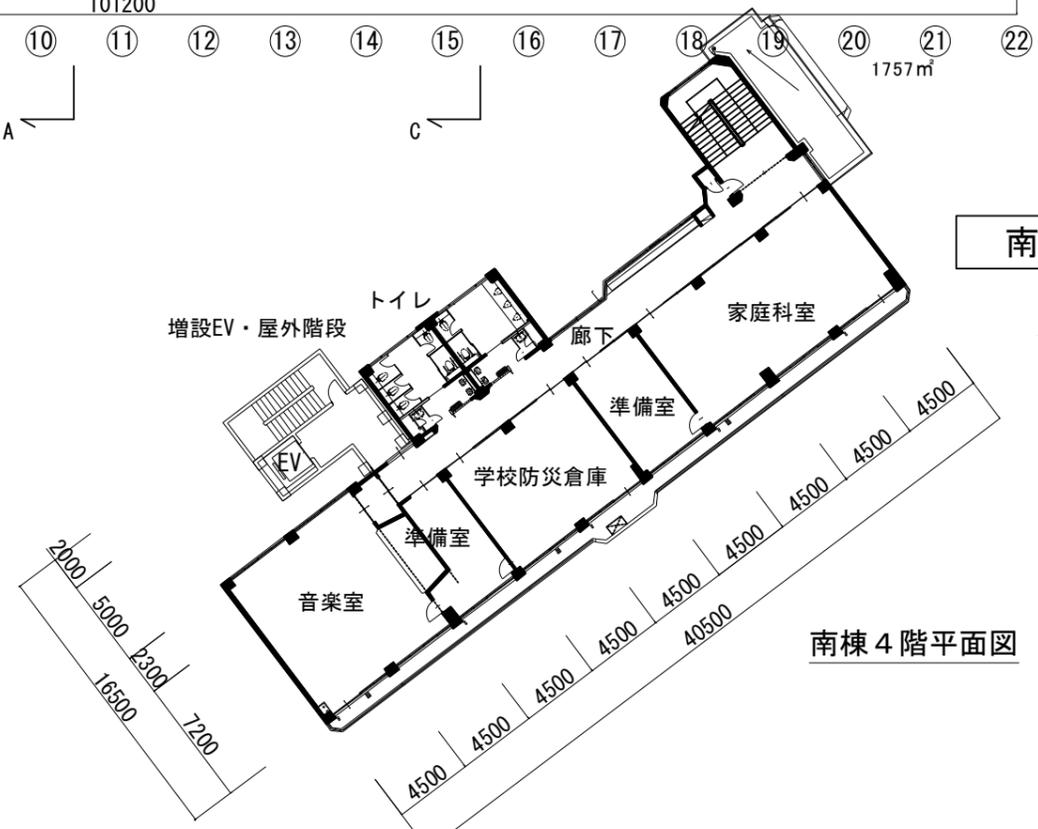
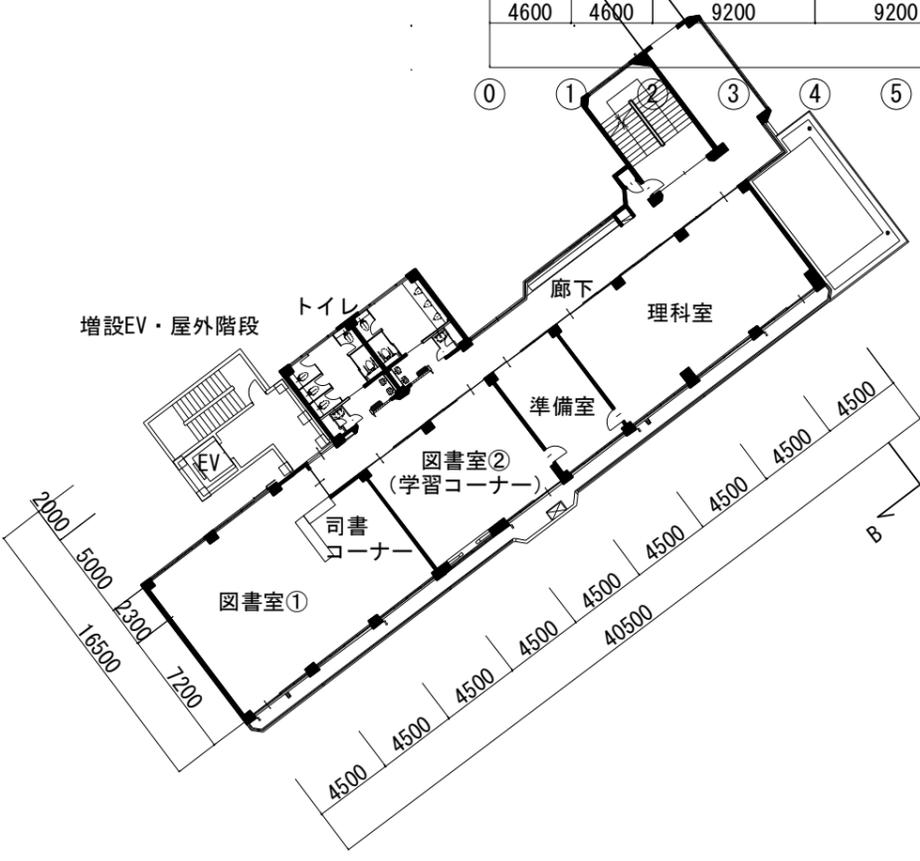
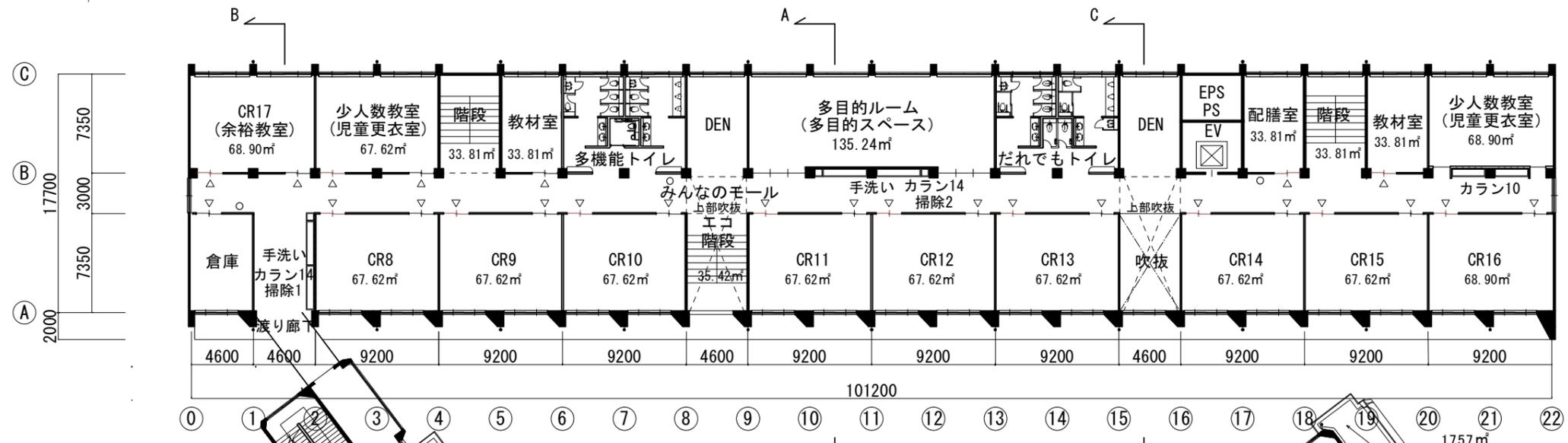
■1階平面図 Scale: 1/800

2-(2)各階平面計画-1F

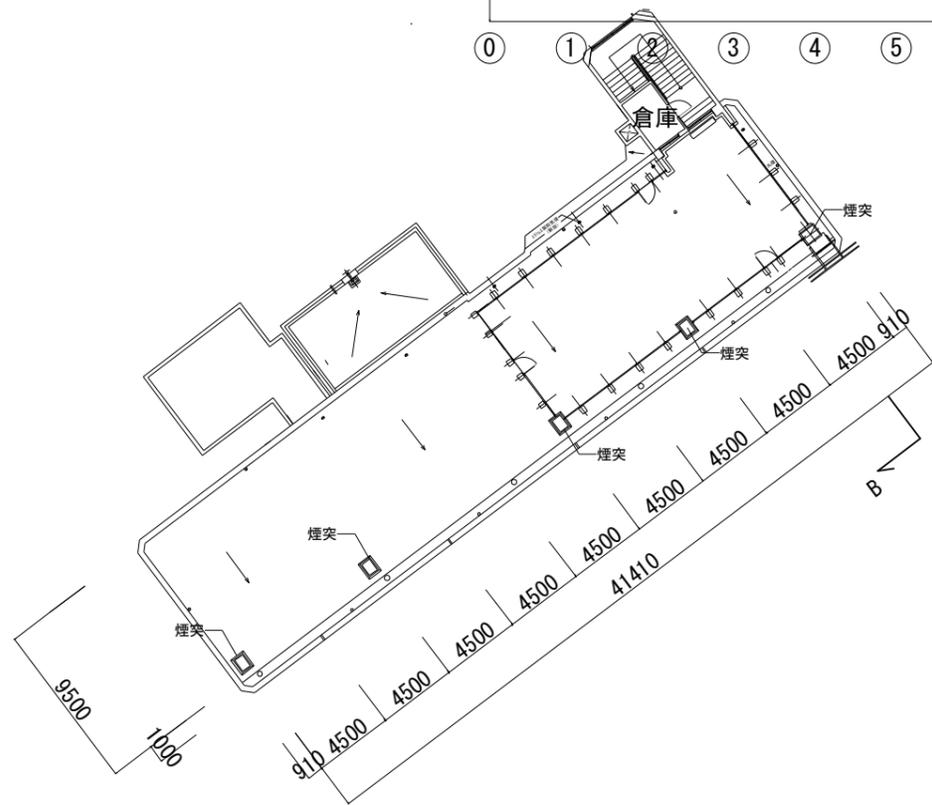
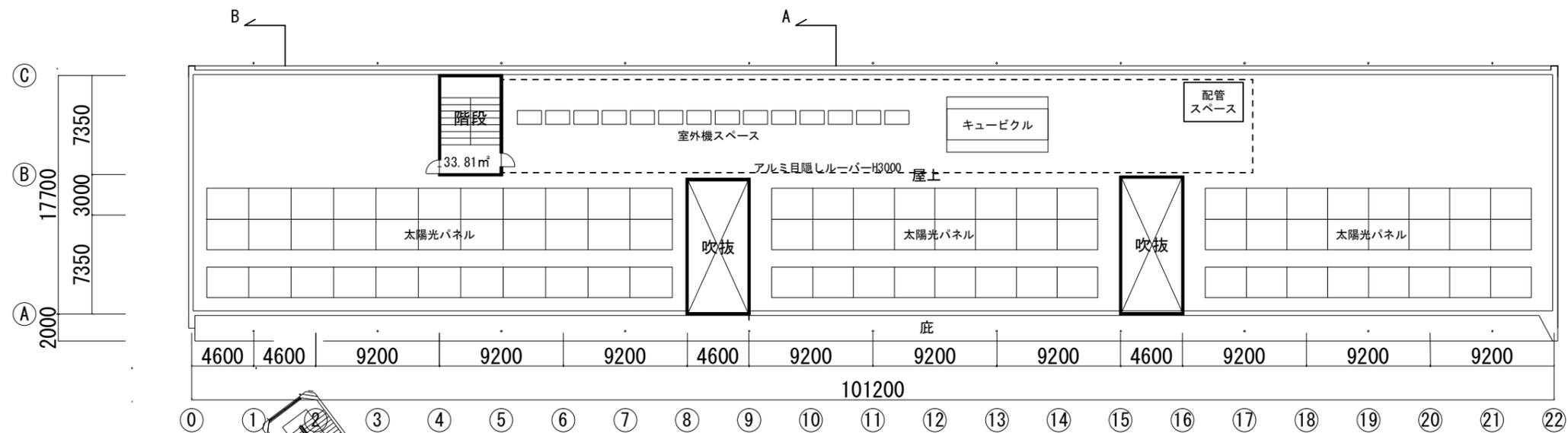




凡例
○ 1号屋内消火栓

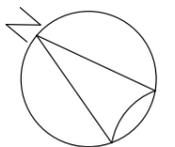


凡例
○ 1号屋内消火栓



新校舎

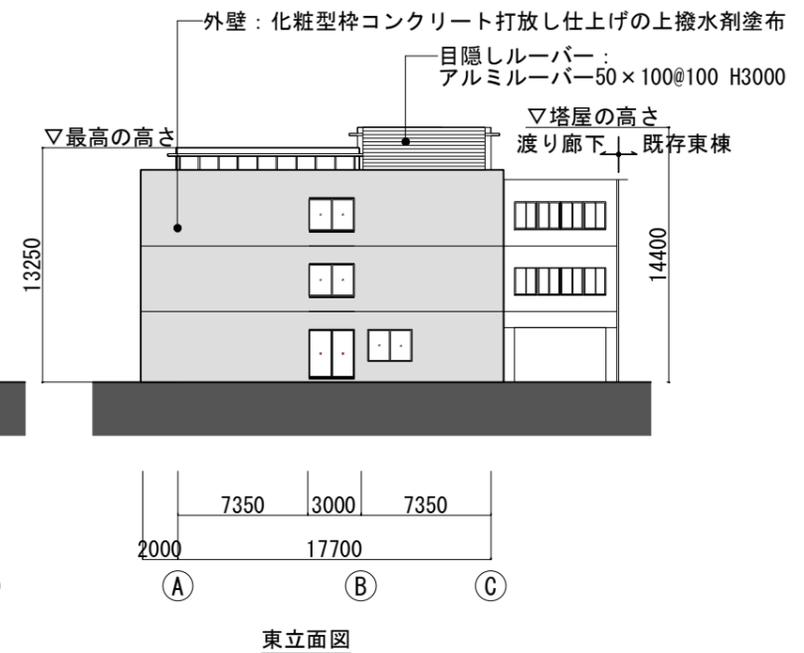
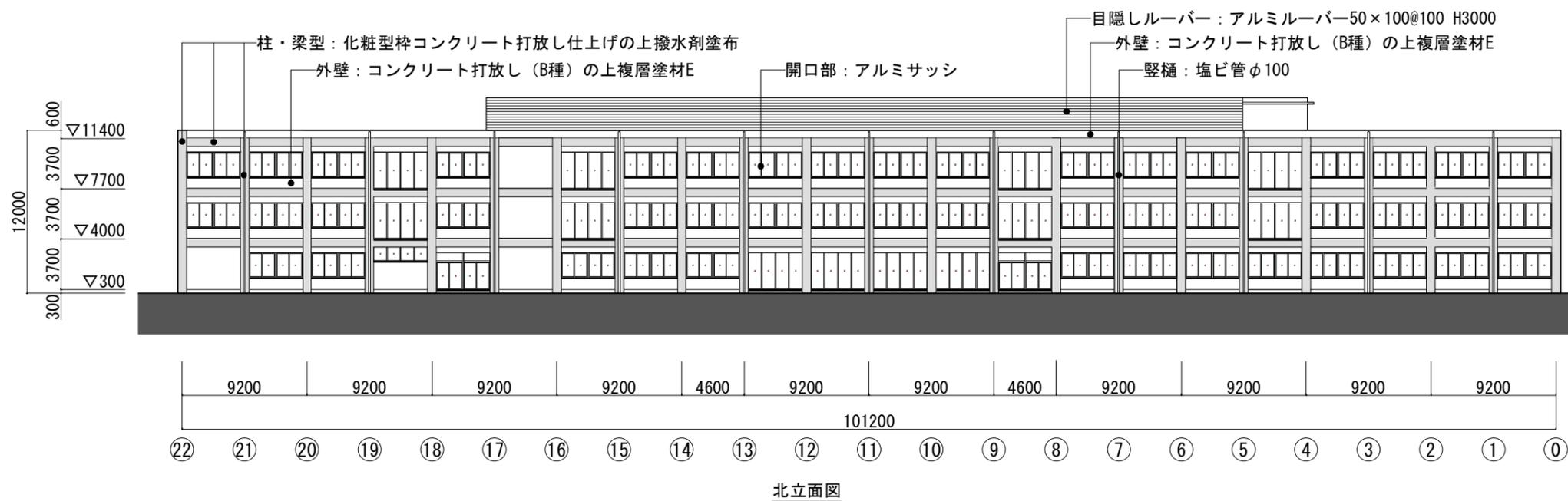
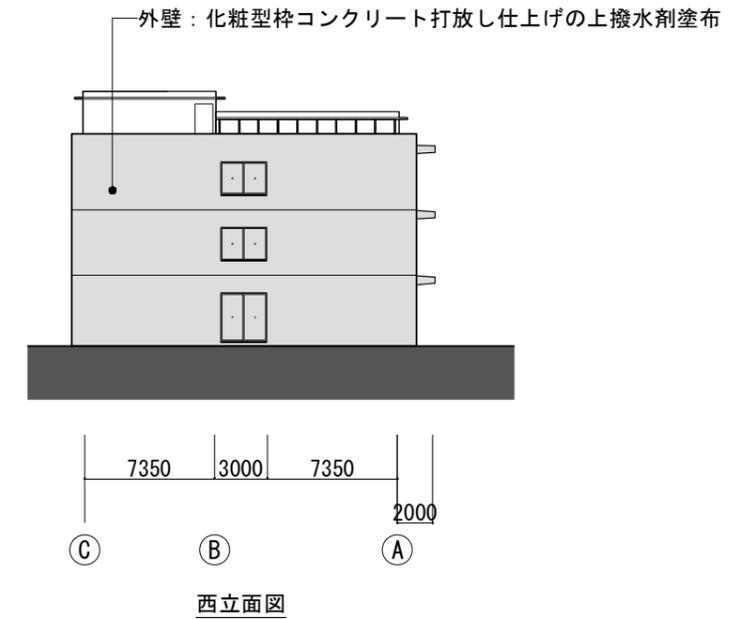
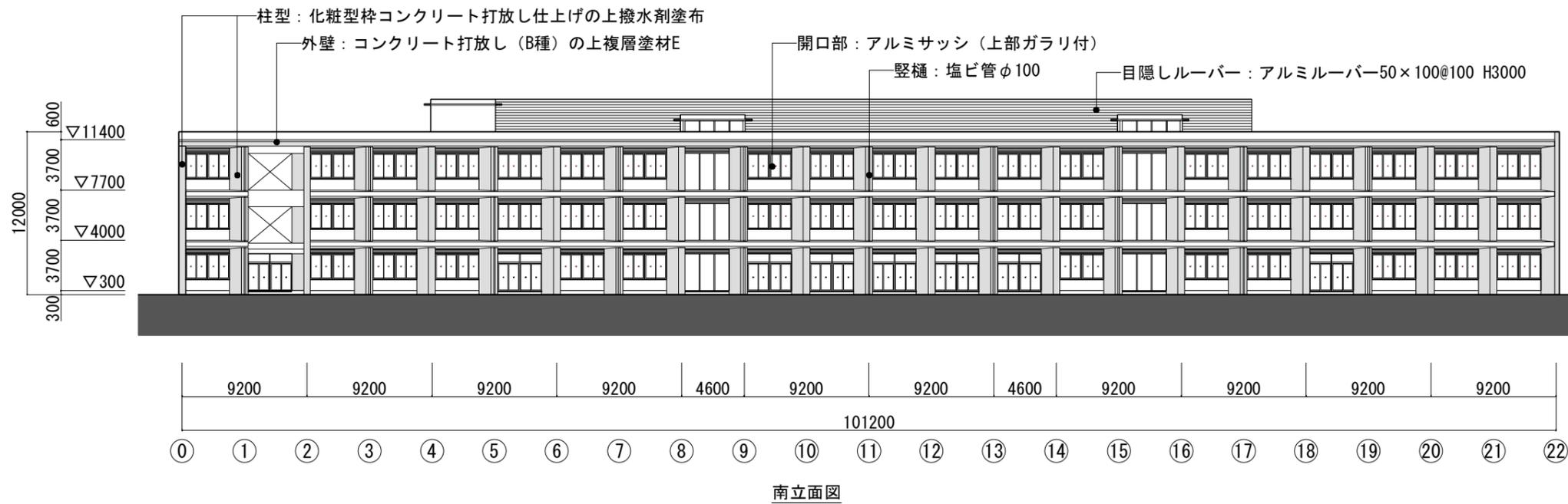
南棟



2-(3)立面計画

■ 住宅街と緑に調和する落ち着いた色調の外観

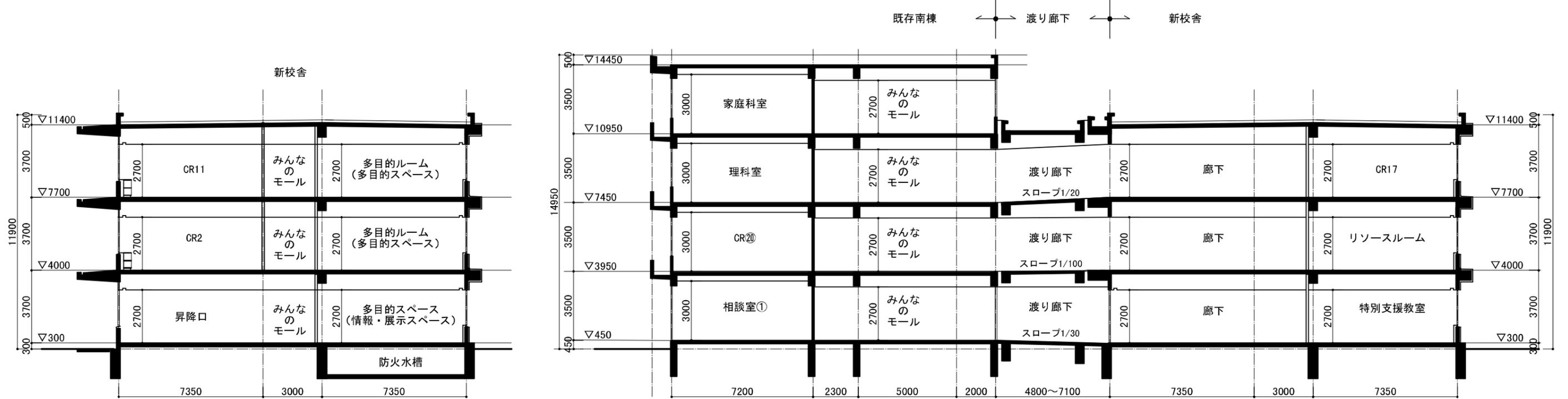
- 普通教室が並ぶ南側外観は、鉄筋コンクリート造の偏平柱・梁にてアウトフレームを構築し、彫りが深くリズムカルなデザインとすることで、地域に圧迫感のない計画とします。伸びやかな水平ラインは直射光を遮り、省エネルギーにも配慮します。
- アウトフレームは、化粧型枠コンクリート打放し+撥水材塗布とし、教室の窓の上下はコンクリート打放し+複層塗材Eとすることで、コストバランスに配慮するとともに、素材の存在感と表情のあるデザインとします。
- アウトフレーム以外の外壁は一般的なコンクリート打放し+複層塗材Eとすることで近年の物価上昇によるコスト削減を図ります。



2-(4)断面計画

■ 既存建物との接続に配慮した断面計画

- 新設校舎棟は既存南棟と屋内渡り廊下で接続するため、極力スロープが不要となり、かつ経済的な階高設定を行います。
- 梁型は扁平梁とすることで、設備ダクトによる梁貫通が出ない計画とし、躯体の強度を確実に確保します。
- 屋根はコンクリートの陸屋根とし、屋上に空調室外機やキュービクル、太陽光パネルを配置することで、敷地を有効に利用します。
- 勾配屋根と比較し、敷地の有効利用、太陽光パネルのメンテナンス性、屋根材の費用による経済性含めメリットの高いコンクリート陸屋根の計画とします。

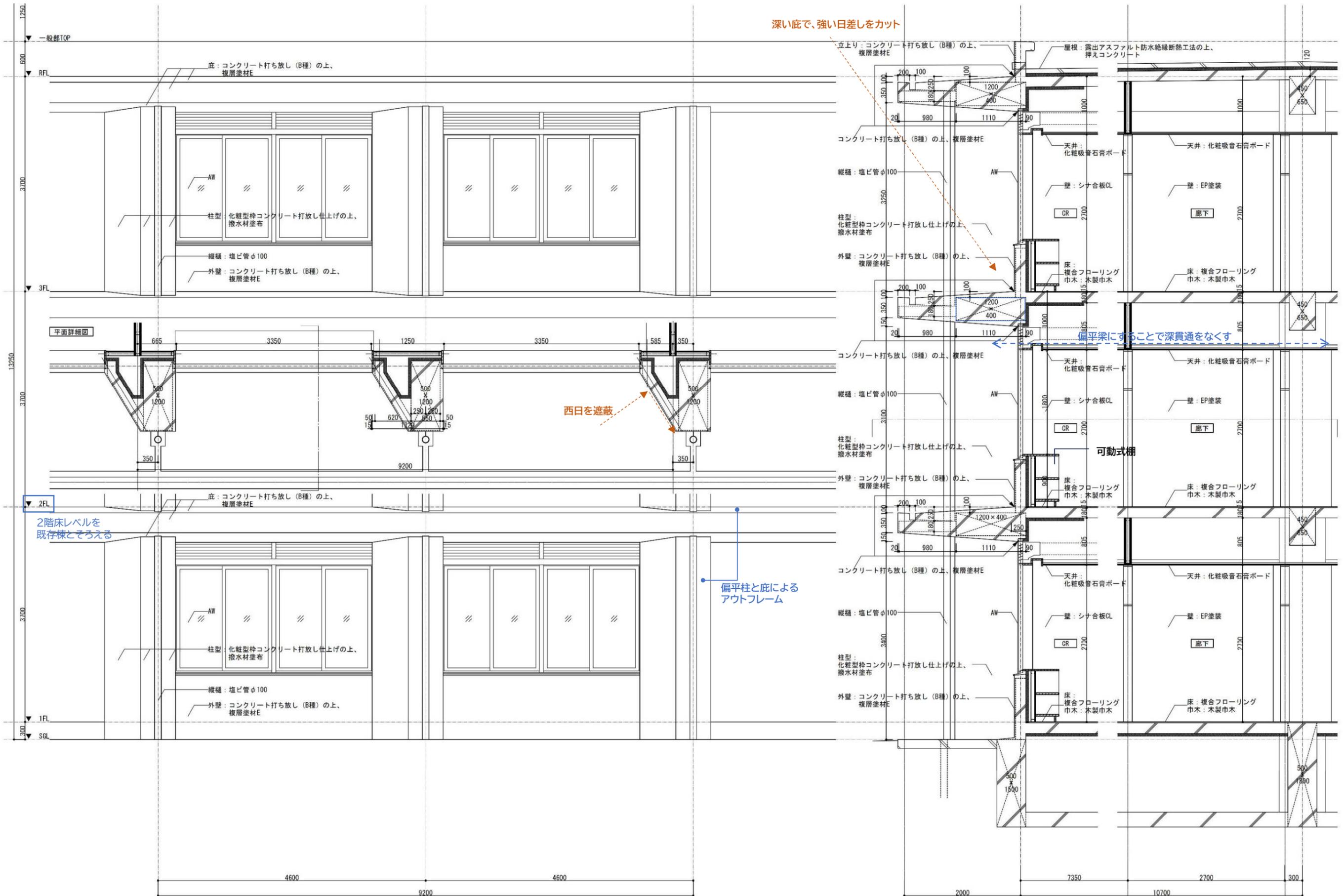


断面 A

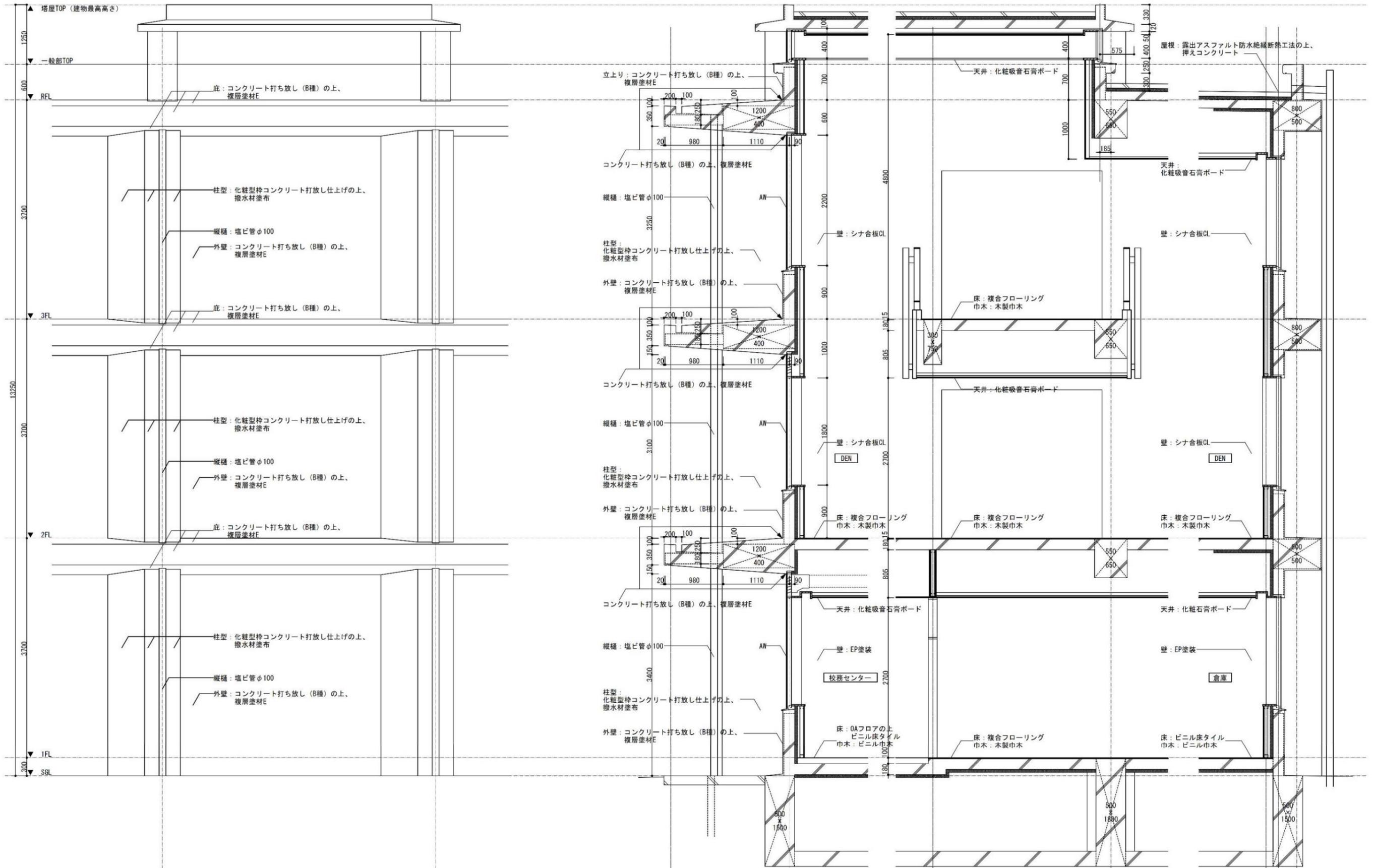
断面 B

断面 C

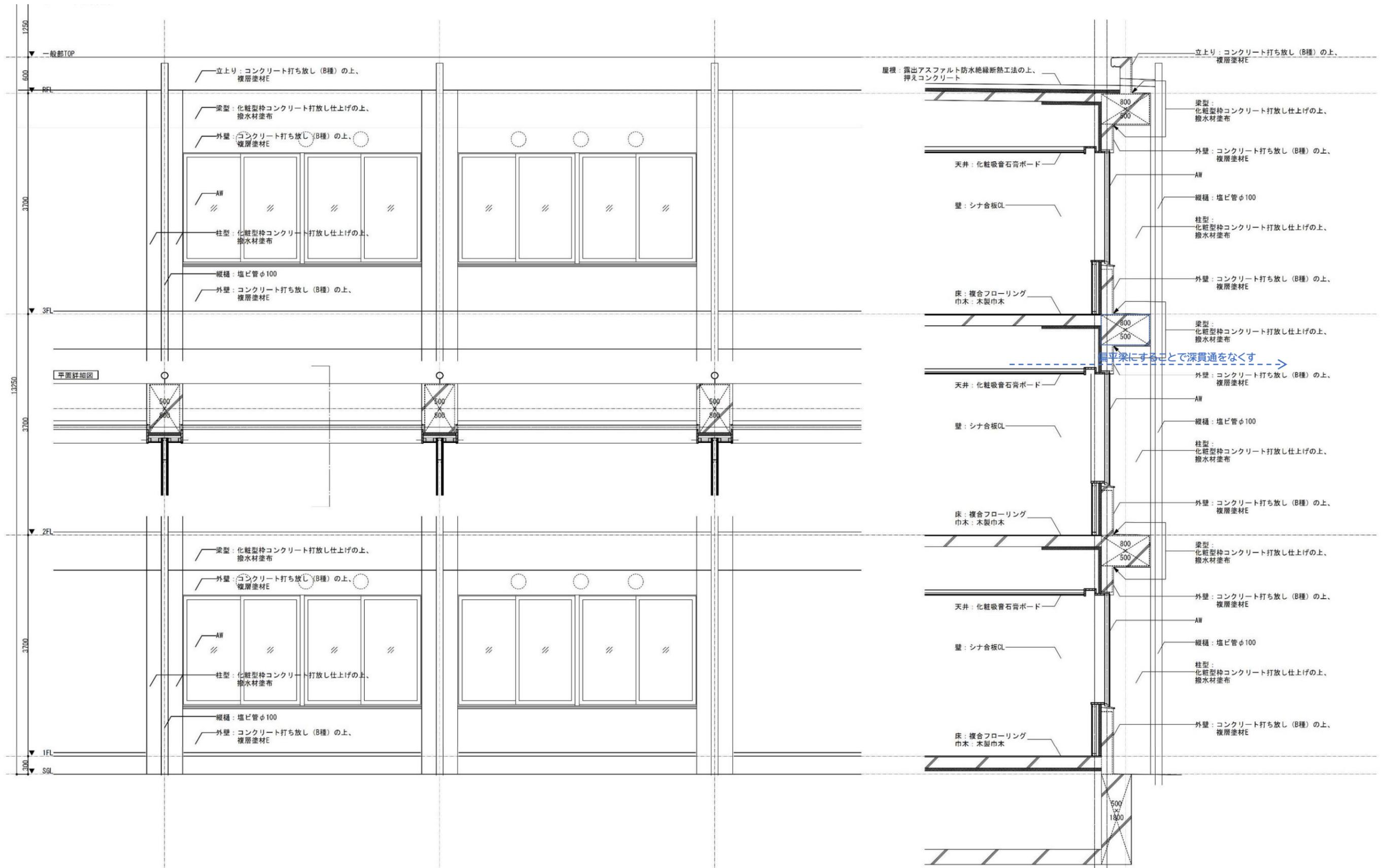
2-(4)断面計画 南側立面矩計図



2-(4)断面計画 南側立面矩計図



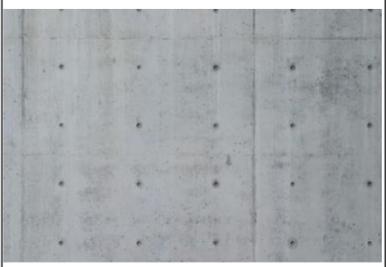
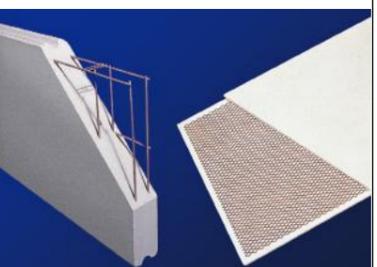
2-(4)断面計画 北側立面矩計図



2-(5)仕上計画

■ 外壁の選定

- 鉄筋コンクリート造で使用される壁の材料として、鉄筋コンクリートや押出成型セメント板、ALC板が挙げられます。メンテナンス費用、耐用年数にはあまり差はなく、コストについてはコンクリートが最も高いが、断熱性能に優れています。また、押出成型セメント板やALC板は工種、工程が複数必要となり工期がかかることから、外壁はコンクリートを採用し、工期の短縮によるコスト削減を図ります。

	外壁:コンクリート	外壁:押出成型セメント板	外壁:ALC板
イメージ			
コスト	22,000円/㎡	17,500円/㎡	10,300円/㎡
メンテナンス	15~20年 外壁塗装、 誘発目地・構造スリットシール、 クラック処理	15~20年 外壁塗装、パネル間シール	15~20年 外壁塗装、パネル間シール

■ 床材の選定

- 床材の選定にあたり、学校で多く使用される、フローリングやビニル床シート、ビニル床タイルの比較検討を行い、児童が多く時間を過ごす、CRや多目的ルーム、廊下には自然の温かみを感じられる複合フローリングとし、その他の部屋はビニル床タイルとし、機能性、コスト面など総合的に判断します。トイレや水回りには目地のないビニル床シートを採用します。

	床:単層フローリング ウレタン塗装	床:複合フローリング ウレタン塗装	床:ビニル床シート	床:ビニル床タイル (コンポジション)
イメージ				
コスト	8,700円/㎡	4,800円/㎡	2,600円/㎡	1,800円/㎡
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 無垢材で温かみがある。 湿度や温度により伸縮があり、反りが起こりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 表面が天然木の為、温かみがある。 積層板のため反りが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 木目調など意匠上選択の幅が広い。 比較的安価。 ノンスリップや抗菌仕様がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠損や汚れがある場合、部分的に張り替えができる。 OAフロアに対応できる。 安価

■ 機能性、耐久性に配慮した仕上の選定

- 耐久性、メンテナンス性を考慮し、防音や吸音、断熱にも配慮した計画とし、シックハウスを考慮した材料を使用します。
- 外壁と階段壁はRC造とし、それ以外の間仕切り壁は軽量鉄骨下地の乾式工法とすることで、工事の簡素化と将来の間仕切りの変更などに対応できる計画とします。また、石膏ボードをスラブ下まで張り上げることで、遮音対策を図ります。
- 教室間の間仕切り壁は耐火構造とし、軽量鉄骨下地を千鳥配置、上張面材は硬質とすることで、耐火性能と遮音性能、表面材の強化を満たすこととします。

また、遮音性能としては120厚RC壁がTLd値45より、同等のTLd値44~45以上の仕様とします。

- 「神奈川県建築物等における木材利用促進に関する方針」「厚木市建築物等における木材利用促進に関する方針」に基づき、床や壁、家具の仕上げを市産木材や県産木材とし、温かみのある内装計画とします。
- 教室と廊下は一体利用が出来る様に、同一の材料とします。
- トイレや配膳室など機能が求められるエリアについては、ビニル床シート防滑性床材を採用することで、メリハリのある計画とします。



壁高さや鋼製下地材の選定例

壁高さ	スタッド(JIS材)	ランナー(JIS材)
~3.3m以下	65形	75形
3.3m超~3.7m以下	75形	90形
3.7m超~4.2m以下	90形	100形

※□型スタッドの一般材(板厚0.5mm厚)や角スタッドを用いた場合の施工可能な壁高さについては、各鋼製下地メーカーへご確認ください。
※詳細は、P.50をご参照ください。

構成材料	
上張面材	タイガーハイパーハードC 9.5mm厚
留付	接着材(100~150g/㎡点付け)+ ステーブル(幅4mm以上×長さ19mm以上、MA線を推奨) ・接着材およびステーブルの間隔300mm以下
接着材	酢ビ系「吉野サクビボンド」
下張面材	タイガーボード・タイプZ 12.5mm厚 または タイガーボード・タイプZ-WR 12.5mm厚
留付	タッピンねじ (φ3.0mm以上×長さ22mm以上、間隔300mm以下)
ランナー	□-75×30~40×0.4~0.8mm
スペーサー	タイガーランナースペーサー(10mm用)
スタッド	□-65×45×0.4~0.8mm □-65×45×0.4~0.8mm
間隔	303(片側606)mm
スペーサー 間隔	上下方向600mm ※□形スタッドを使用する場合に取付
四周 上張面材 処理 下張面材	タイガーUタイトまたはタイガージブタイト タイガーロックフェルト12.5mm
目地部	あらかし可

■ 間仕切り壁(参考)

※詳細・仕様は実施設計にて決定する

TLd-
44

2-(5)仕上計画 外部仕上表 内部仕上表一新設校舎

■ 外部仕上表

対象	部位	仕様	備考	対象	部位	仕様	備考	対象	部位	仕様	備考	
校舎	外壁	コンクリート打放し仕上、撥水剤		校舎	軒天	撥水性コンクリート用塗装、ケイカル板、外装薄塗材E		増築	外構	伸よしの道	車道用インターロッキング舗装	
		コンクリート打放し仕上げ、複層塗材E			目隠し	屋上目隠しルーバー(人工木ルーバー)			外壁	コンクリート打放し、複層塗材E		
	屋根	アスファルト露出防水絶縁断熱工法+押えコンクリート			ガラス	LOW-E複層ガラス(空気6mm)			屋根	露出アスファルト防水絶縁断熱工法		
	庇	ウレタン防水			建具	アルミ製建具、鋼製建具						

■ 内部仕上表一新設校舎

階	室名	床	巾木	壁 ※LGS下地は全てスラブまで	天井	天井高	黒板 ● 白板○	掲示板	背面棚	窓下棚	掃除用具入	教師棚	可動間仕切	カーテン 共	スクリーン	ビクチャール	家具	備品・設備
1	多目的スペース	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●			●	●		展示棚、書架棚	テーブル、椅子、スツール、ブックトラック、スクリーン、台形テーブル
1	校務センター	OAフロア-ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●		●				● ブラインド			スチール棚	デスク、椅子、テーブル、手洗器
1	校長室	複合フローリング	ビニル巾木	木調化粧ケイカル板	化粧吸音石膏ボード	2.7		●		●				● ブラインド			システム戸棚	デスク、椅子、ソファセット、センターテーブル、手洗器
1	用務員室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5					●			●			スチール棚、戸棚	デスク、テーブル、椅子、キッチンキャビネット(IH)、洗濯機パン
1	職員更衣室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5								●				手洗器、ロッカー
1	印刷室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5											スチール棚	作業台、丸椅子
1	放送スタジオ	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7								●				デスク、椅子、スクリーン
1	会議室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●			● ブラインド				長テーブル、椅子、可動WB
1	保健室	複合フローリング ノンスリップ床シート	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7		●			●			● ブラインド			収納ベッド、布団棚、ベット脇収納、薬品棚、器機棚、ステンレス流し台、AED収納、担架収納、収納棚	シャワーユニット、手洗器、洗濯機パン、デスク、椅子、診察台、衝立、角椅子、テーブル
1	特別支援教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●	●●	●	●				机、椅子、教師机、教卓、配膳台
1	男女トイレ	ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧石膏ボード	2.5											トイレブース	手洗器
1~3	みんなのモール(廊下)、 体育館通路、配膳通路	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5		●								●		
1	情報室・休憩室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5												
1	昇降口・玄関	磁器質タイル	磁器質タイル	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7		●			●						下足棚	傘立
1	相談室②	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7		●						●				
1	倉庫	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5												
2.3	多目的ルーム	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●			●	●	●		台形テーブル、椅子、可動WB、ブックトラック
2.3	CR1~7	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	●	●	●	● 可動	●	●		●		●		机、椅子、教師机、教卓、配膳台
2.3	リソースルーム、国際教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●	●		●		●	収納棚	机、椅子、教師机、配膳台、キャビネット、パーテーション
2.3	特別支援教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	●	●	● 可動		●●	●●	●	●				机、椅子、教師机、配膳台
2.3	少人数教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●	●		●			廊下側カーテンレール	机、椅子、教師机
2.3	教材室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5											スチール棚	
2.3	配膳室	ビニル床シート	ビニル巾木	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5											ステンレスシンク	
2.3	廊下	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5										●		
2.3	倉庫	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5												
2.3	DEN	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.5										●		
2.3	渡り廊下	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5												
2.3	トイレ	ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧石膏ボード	2.5											トイレブース	手洗器
共通	階段・エコ階段	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	-												

2-(5)仕上計画 内部仕上表一既存校舎

階	既存室名 改修室名	床	巾木	壁 ※LGS下地は全てスラブまで	天井	天井高	黒板● 白板○	掲示板	掃除用 具入	教師 棚	カーテ ン共	家具	備品・設備
1	既存 配膳室	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	2.65						★木製ロッカー、★掃除用具入、★流し台	
	改修後 フリールーム (校内教育支援教室)	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.65	○	●	●	●	●	戸棚、ロッカー	デスク、椅子、テーブル、机、可動WB、ス ツール、キャビネット、パーテーション
1	既存 CR1-4	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★教師用戸棚、★背面ロッカー、★掃 除用具入	
	改修後 相談室	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●	戸棚	テーブル、椅子、スクリーン
1	既存 CR1-4	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★教師用戸棚、★背面ロッカー、★掃 除用具入	
	改修後 こころの教室	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●	戸棚	机、椅子、作業机、ソファ、座卓、クッション、 テーブル
1	既存 CR1-3	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 地域連携室(PTA会議室)	既存のまま	既存のまま	EP塗装	化粧石膏ボード	2.7					●		
1	既存 CR1-2	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 放課後児童クラブ②	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0					●		
1	既存 教材室	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0							
1	既存 CR1-1	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 放課後児童クラブ①	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0					●		
1	既存 受水槽	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	合板型枠打放補修	t20木毛板打込	-							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-							
1	既存 トイレ	アスファルト防水人研(真鍮目地) ブース内-25角モザイクタイル	—	108角磁器タイル(出入隅・役物使用)腰H 1150モルタル金ゴテ ラフトンデラックス吹付	有孔t6シナベニヤ目 透V.P	2.3						★トイレブース	★手洗器
	改修後 トイレ	防水撤去の上ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5						トイレブース	手洗器
1	既存 昇降口	人造石研出(真鍮目地)	人造石研出	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	2.65						★下足入れ	
	改修後 防災備蓄倉庫、玄関	既存のまま	既存のまま	EP塗装	化粧石膏ボード	2.65						下足入れ、収納棚(倉庫)	
1	既存 階段	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	サ・ラソフト巾木	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	◆t9プラストーン張り	-							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-							
2	既存 CR3-1	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 図工室	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	3.0					●	ステンレス流し	
2	既存 教材室	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 図工準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0							
2	既存 CR3-2	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★教師用戸棚、★背面ロッカー、★掃 除用具入	
	改修後 CR18	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	3.0	●	●	●	●	●	ロッカー、掃除用具入、教師用戸棚	教卓、机、椅子、配膳台
2	既存 CR3-3	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★教師用戸棚、★背面ロッカー、★掃 除用具入	
	改修後 CR19	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	3.0	●	●	●	●	●	ロッカー、掃除用具入、教師用戸棚	教卓、机、椅子、配膳台
2	既存 CR3-4	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ビニル加貼	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★教師用戸棚、★背面ロッカー、★掃 除用具入	
	改修後 CR20	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	3.0	●	●	●	●	●	ロッカー、掃除用具入、教師用戸棚	教卓、机、椅子、配膳台
2	既存 配膳室	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★流し台、★ベンチ、★黒板	
	改修後 教材室	既存のまま	既存のまま	既存のまま、シャフト塞ぎ壁	既存のまま	3.0						収納棚	
2	既存 トイレ	アスファルト防水人研(真鍮目地) ブース内-25角モザイクタイル	—	108角磁器タイル(出入隅・役物使用)腰H 1150モルタル金ゴテ ラフトンデラックス吹付	有孔t6シナベニヤ目 透V.P	2.3						★トイレブース	★手洗器
	改修後 トイレ	防水撤去の上ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5						トイレブース	手洗器
2	既存 階段	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	サ・ラソフト巾木	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	-							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-							

※全室共通:LED照明化による天井の部分改修あり ◆アスベストレベル3含有 ★撤去

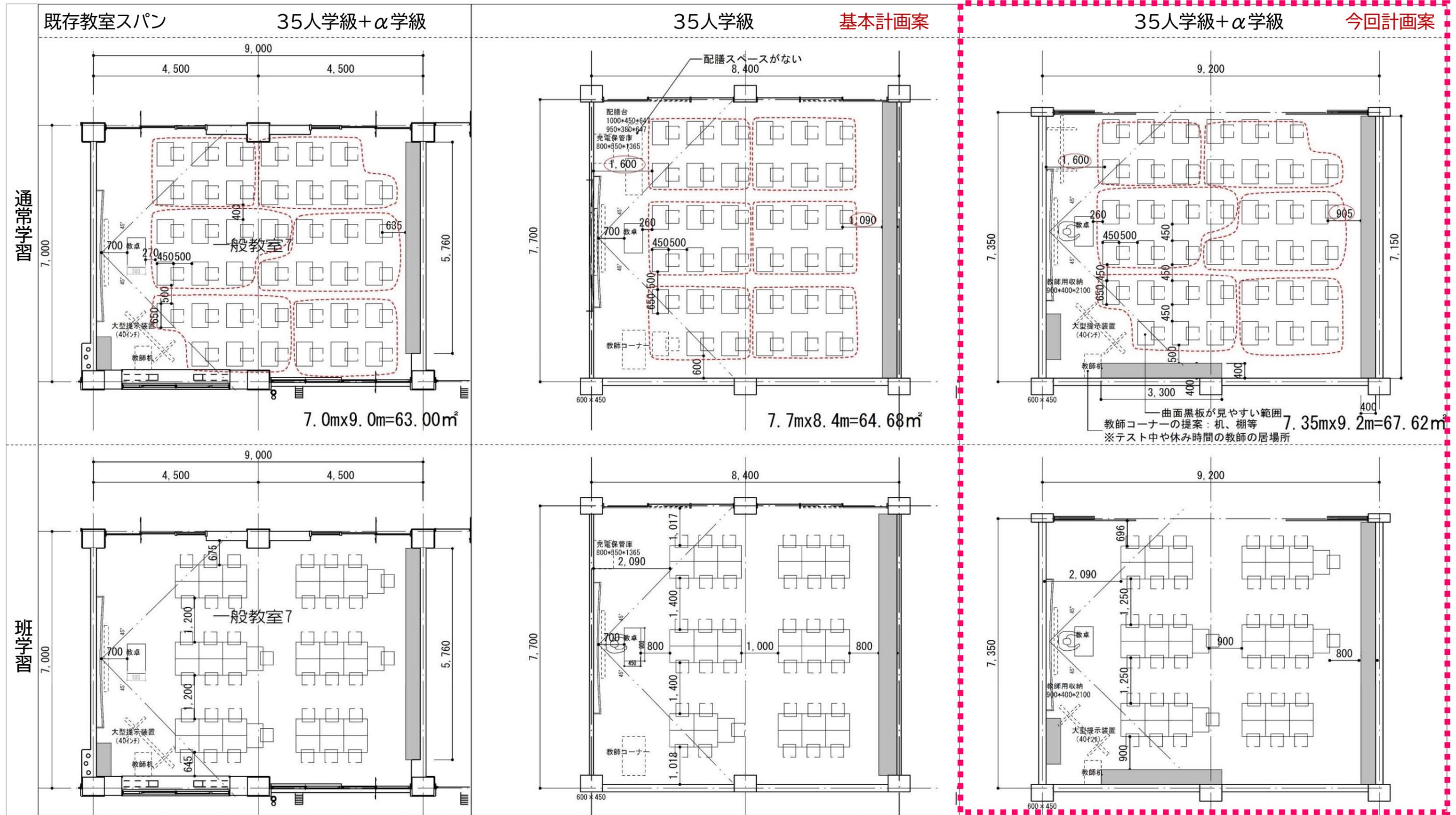
2-(5)仕上計画 内部仕上表一既存校舎

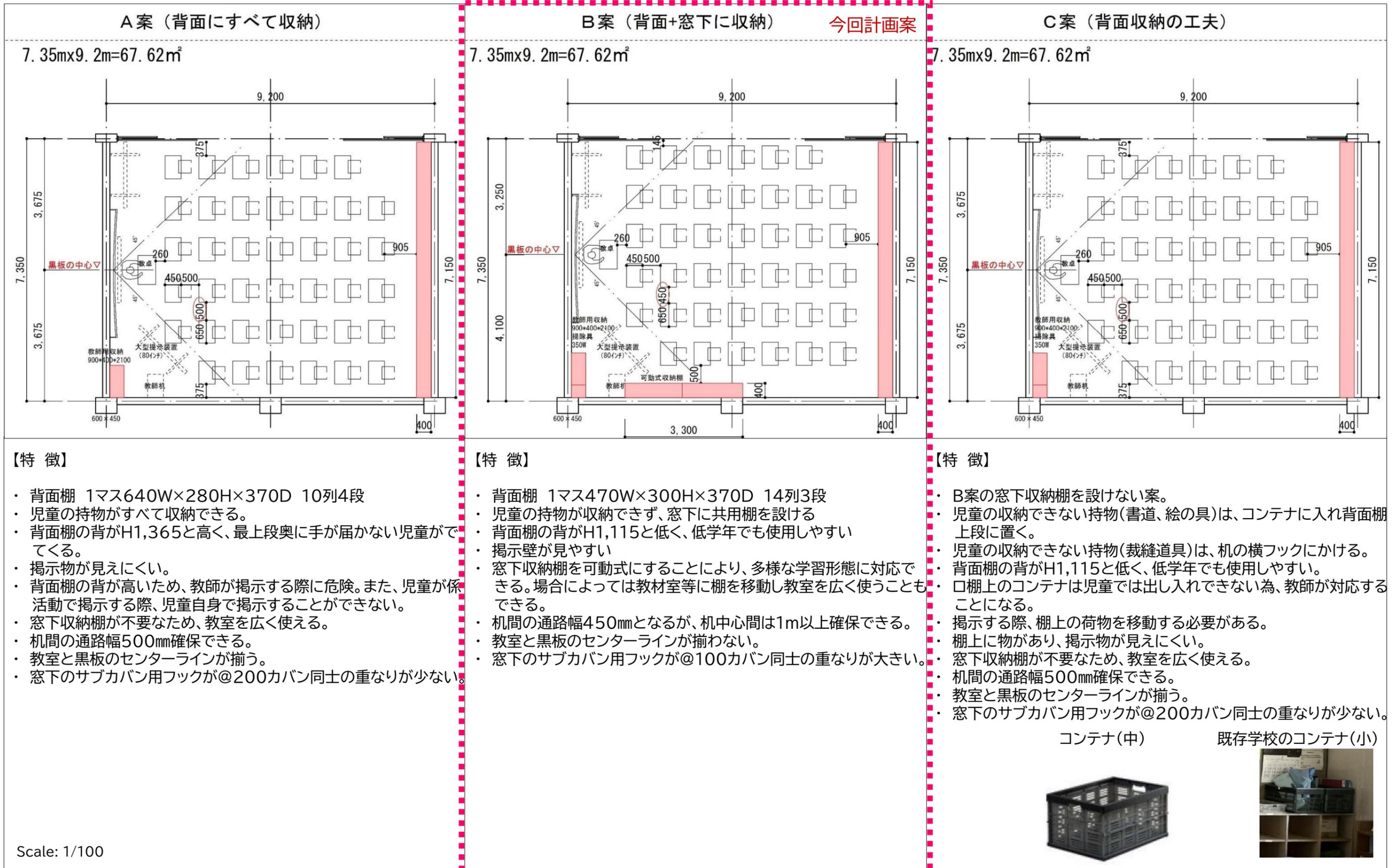
階	既存室名 改修室名	床	巾木	壁 ※LGST下地は全てスラブまで	天井 (特定):特定天井を示す	天井高	黒板● 白板○	掲示板	掃除用具入	教師棚	カテール共	家具	備品・設備
3	既存 理科室①	モルタル金ゴテ 長尺ビニルシート貼りt2	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
3	既存 理科準備室	モルタル金ゴテ 長尺ビニルシート貼りt2	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	2.65							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
3	既存 理科室②	モルタル金ゴテ 長尺ビニルシート貼りt2	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 図書室②	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	3.0	○	●	●		●		テーブル、椅子、スツール、ラグ、ブック トラック、スクリーン
3	既存 図書室①	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0			●	●			
	改修後 司書カウンター	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧石膏ボード	3.0					●	書架棚、円形テーブル、司書カウンター	テーブル、椅子、スツール、ラグ、ブック トラック、スクリーン
3	既存 図書室①	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	3.0						★黒板、★掃除用具入	
	改修後 既存のまま	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード						●	カウンター、書架、テーブル、読書カウンター	ブックトラック、スツール、オフイスラ グン、椅子、テーブル
3	既存 トイレ	アスファルト防水人研(真鍮目地) ブース内-25角モザイクタイル	—	108角磁器タイル(出入隅・役物使用)腰H 1150モルタル金ゴテ ラフトンデラックス 吹付	有孔t6シナベニヤ目 透V.P	2.3						★トイレブース	★手洗器
	改修後 トイレ	防水撤去の上ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5						トイレブース	手洗器
3	既存 階段	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	サ・ラソフト巾木	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	-							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
4	既存 家庭科室	モルタル金ゴテ 長尺ビニルシート貼りt2	ソフト巾木H75	t9インシュレーション下地 t6有孔シナベニヤE.P.	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
4	既存 家庭科準備室	モルタル金ゴテ 長尺ビニルシート貼りt2	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	2.65							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
4	既存 音楽教室②	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	t9インシュレーション下地 t6有孔シナベニヤE.P.	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 学級防災倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0						スチール棚	
4	既存 音楽準備室	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラストーン張り	2.65							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
4	既存 音楽教室①	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	t9インシュレーション下地 t6有孔シナベニヤE.P.	t9プラストーン張り	3.0							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
4	既存 トイレ	アスファルト防水人研(真鍮目地) ブース内-25角モザイクタイル	—	108角磁器タイル(出入隅・役物使用)腰H 1150モルタル金ゴテ ラフトンデラックス 吹付	有孔t6シナベニヤ目 透V.P	2.3						★トイレブース	★手洗器
	改修後 トイレ	防水撤去の上ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5						トイレブース	手洗器
4	既存 階段	モルタル金ゴテ ◆ビニルアスベスト系タイル貼り	サ・ラソフト巾木	t9プラストーン張り(不毛板打込)	t9プラストーン張り	-							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
増 築 部	EVホール	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5							

※全室共通:LED照明化による天井の部分改修あり ◆アスベストレベル3含有 ★撤去

2-(6) 普通教室の広さと設え(1)

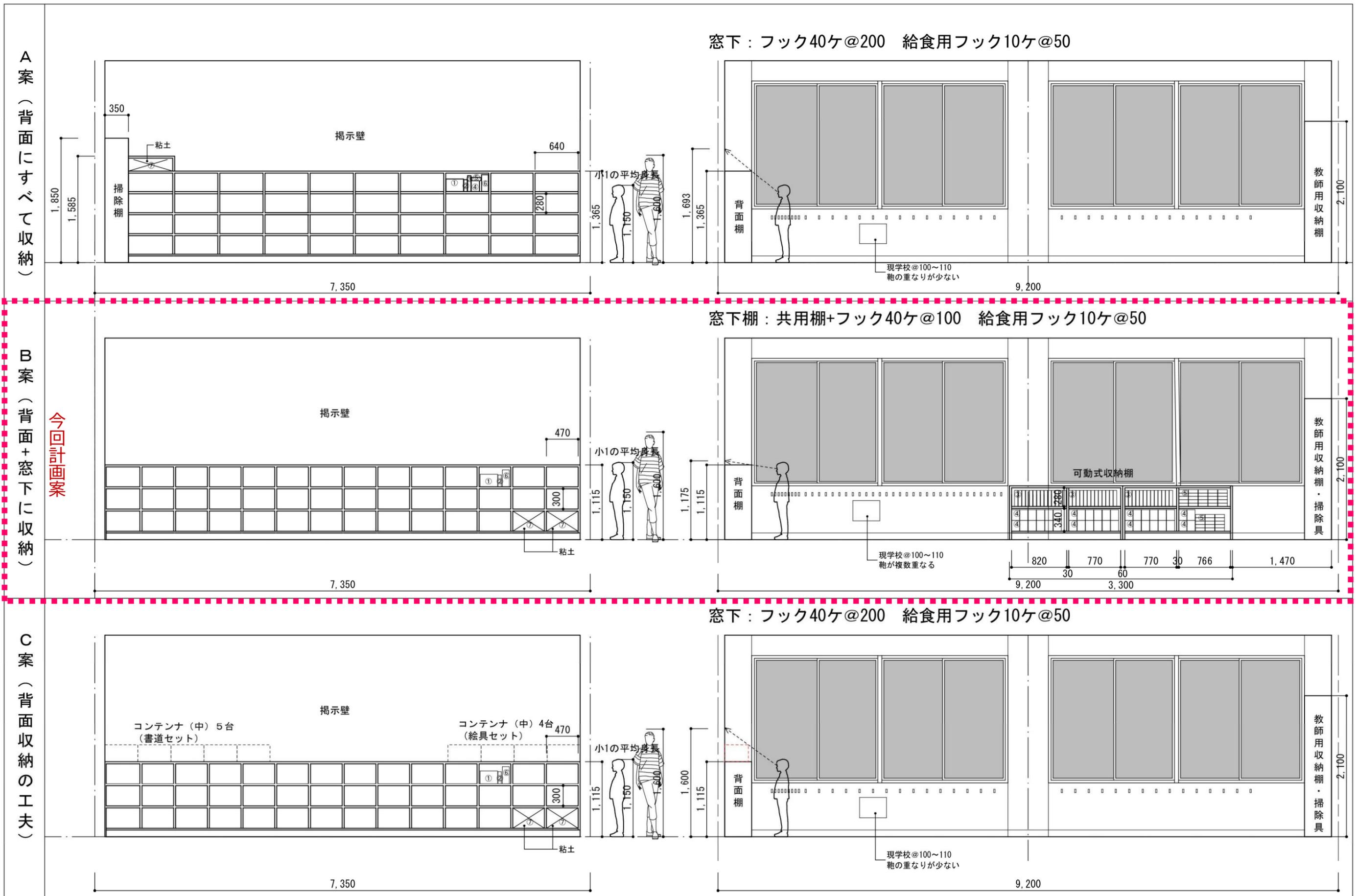
- 学級編成の標準(1学級の児童数)35人に加え、特別支援学級在籍児童(5人程度)が通常学級において交流及び共同学習することを考慮し、普通教室の収容人員は40人でスパン(広さ)の検討を行います。
- 既存の教室スパンは7,000mm×9,000mmで机間幅が400mm、後部席と背面棚間も635mmと狭く、教室内が煩雑としています。
- 基本計画の教室スパンは7,700×8,400mmですが、収容人員を35人で計画しているため、スペースが不足します。
- 机間は450mm、最後部と背面棚間は児童が着席しても荷物の出し入れが出来る905mmを確保し、過剰にならず必要な普通教室のスパンを7,350mm×9,200mmとします。





Scale: 1/100

2-(6)普通教室の広さと設え(3)



2-(6) 普通教室の広さと設え(4)

既存教室の収納棚は背面棚のみで児童の荷物が納まりきれず、教材室や廊下に私物があふれ、管理が行き届いていない状況です。そこで、児童の持物を調査し、収納棚の検討を行います。

- ・ 児童の持物は①～⑨まですべてを背面棚に収納すると、背面棚が高くなり低学年の利用が難しく、掲示板も使いづらくなる。【A案】
- ・ 利用頻度の高い持物を背面棚に収納し、頻度の少ないものを窓下の棚に収納すると、背面棚の高さも抑え、児童が整理整頓することができ、教室内の学習環境が整備できる。【B案】
- ・ 背面棚の高さを抑え、収納しきれないものはコンテナを使用すると、掲示物の邪魔になり、管理は教員が行わないといけない。【C案】

教員にヒアリングを行い複数案の検討より、B案の背面棚と窓下に可動棚とフックを設け、前面には教師用棚と掃除具棚を計画します。

窓下の可動棚は授業の形態によっては廊下へ移動したりできるようキャスター付きとするが、通常時転倒の恐れがないようストッパーを設けるなどの配慮をします。

①ランドセル260*191*323



④絵の具セット330*160*119



⑦粘土セット



②鍵盤ハーモニカ500*180*50



⑤裁縫セット235*140*50



⑧給食袋



③書道セット360*240*50



⑥教科書ボックス



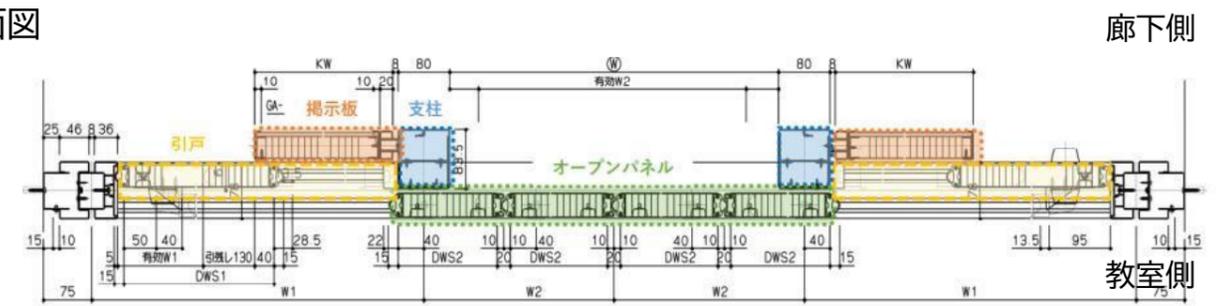
⑨サブカバン



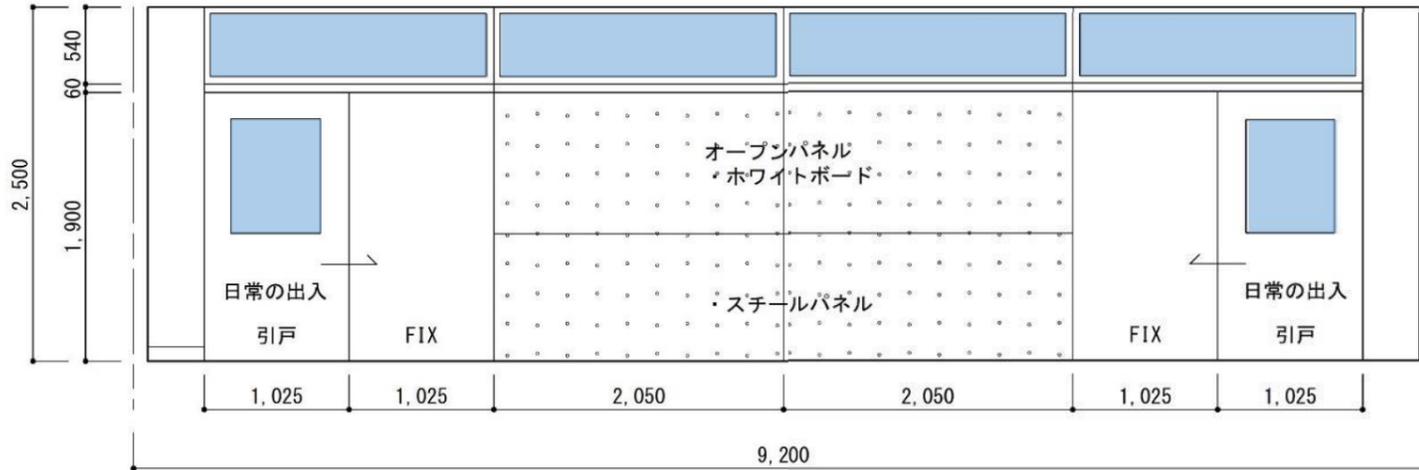
2-(6)普通教室の広さと設え(5)

- CRと廊下の間仕切りはスクールパーティションとし、通常出入口の他、廊下と一体利用ができる様、大きな開口が可能な計画とします。
- オープンパネル部の教室側は上部がホワイトボード仕様とし、板書やマグネットによる掲示が出来、腰部は机が当たることを想定しスチールパネル仕様とします。
- 扉は吊り戸とし床にレールを設けないため、清掃性が高く、教室と廊下の境目がない計画とします。

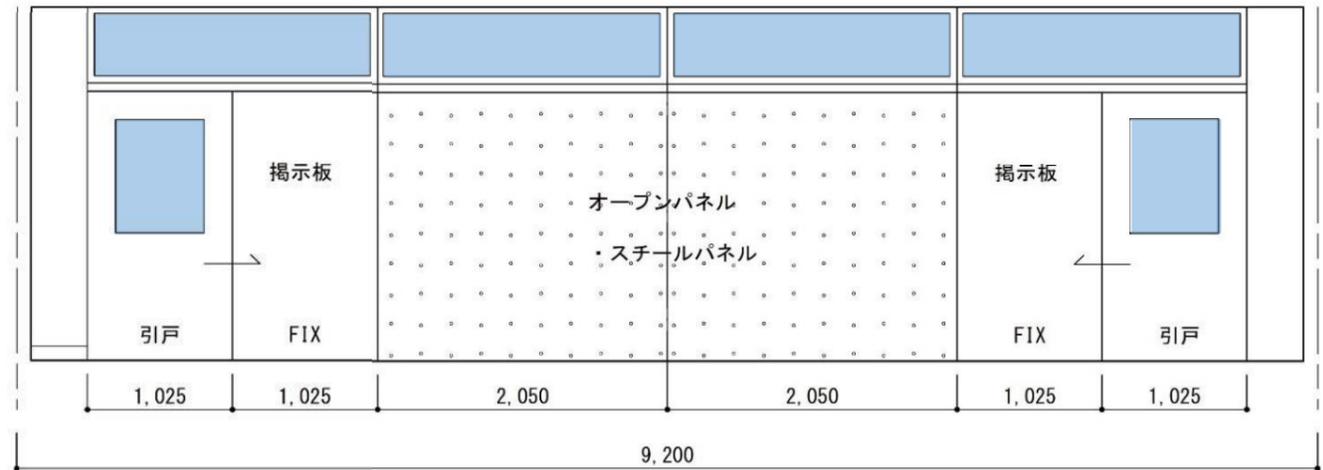
平面図



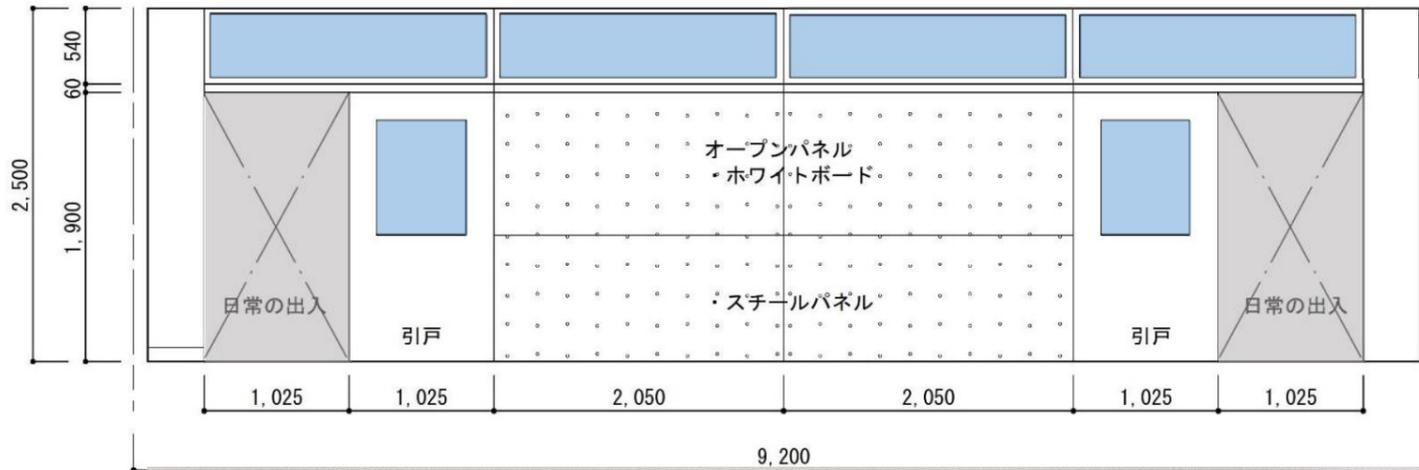
教室側



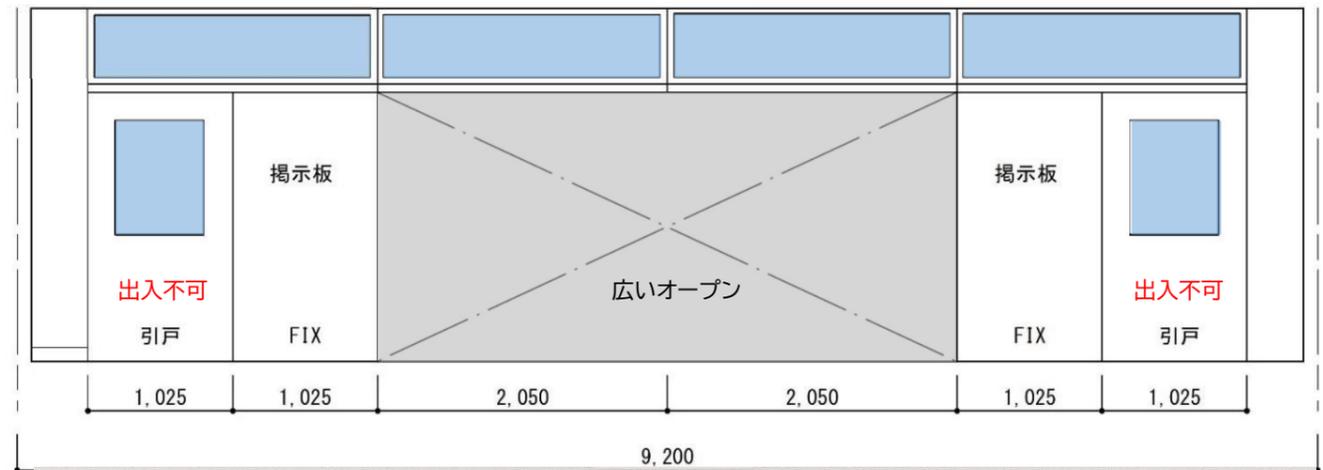
廊下側



日常の出入(教室側)



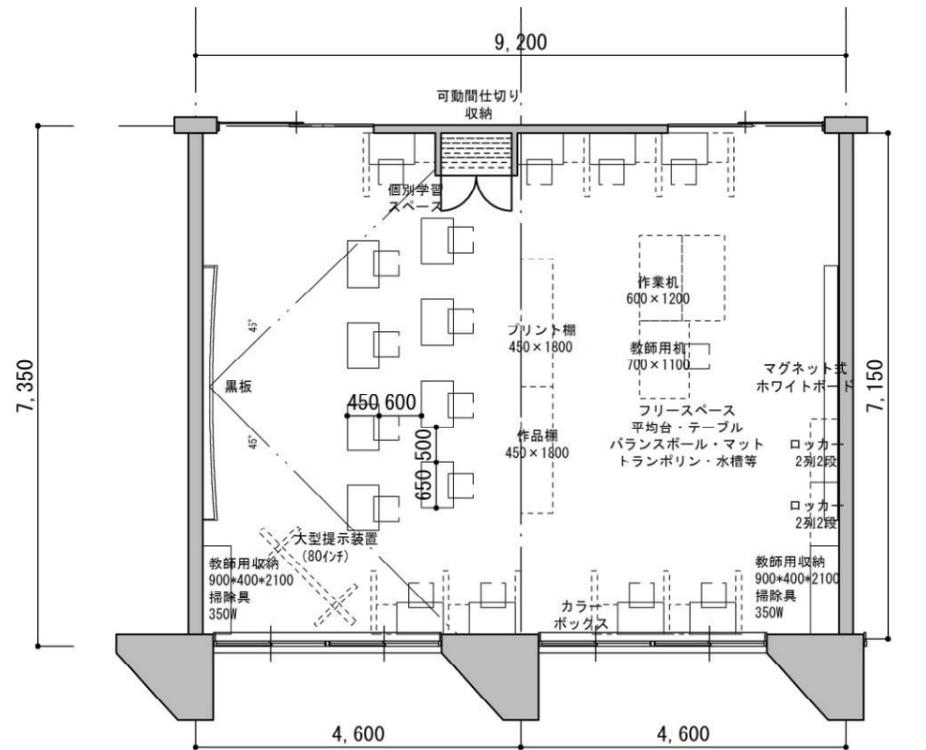
広くオープンとし廊下と一体利用(廊下側)



2-(7)特別支援学級・少人数教室のレイアウト

■ 特別支援学級1コマ利用時

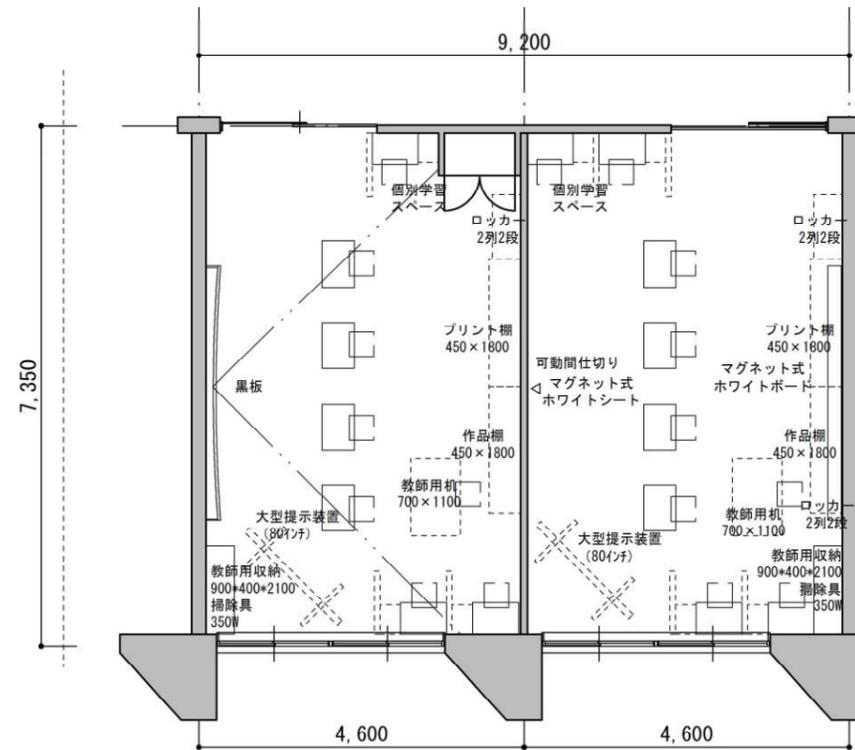
- 可動間仕切を設け、児童の特徴に合わせてフレキシブルに対応できる計画とします。
- 可動間仕切り収納戸袋付とします。
- ロッカーは備品にて2列2段を2か所設けます。
- 教師用収納+掃除具棚は2セット設けます。



7.35m x 9.2m = 67.62m²

■ 特別支援学級0.5コマ利用時

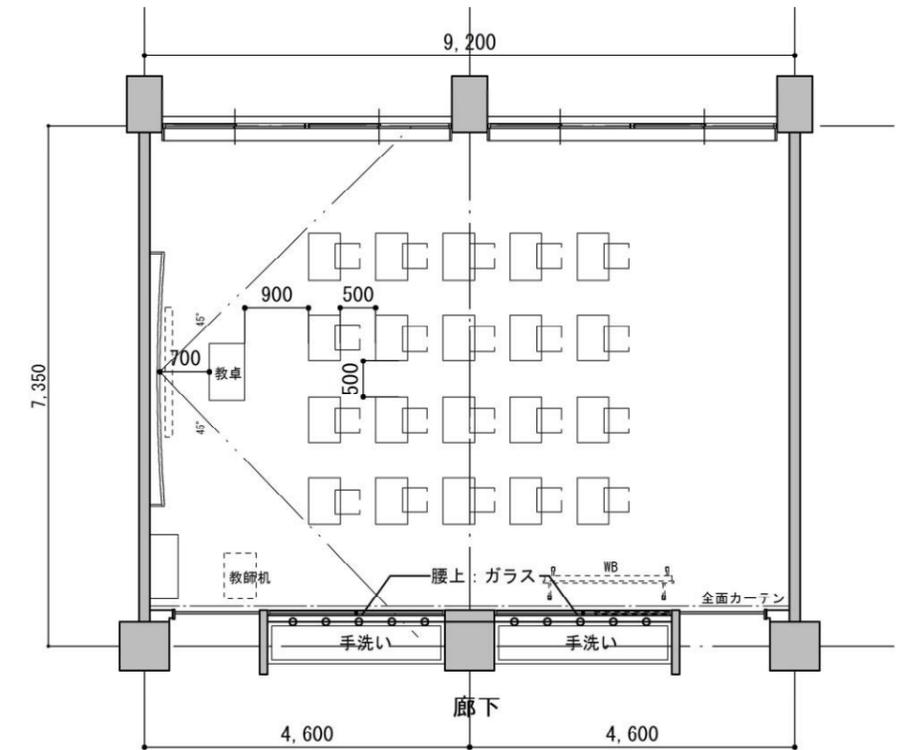
- 可動間仕切により、0.5コマの落ち着いた教室を設ける事ができます。
- 0.5コマのレイアウトを前提に、電気設備・機械設備を計画します。
- 黒板はマグネット式ホワイトシートを可動間仕切りに貼る事で対応します。



7.35m x 4.6m = 33.81m²

■ 少人数教室(児童更衣室)

- 必要な時にすぐに少人数指導が行えるよう、CRの近くに配置します。
- 習熟度に応じた学習、グループ学習など、20人がまとまりをもって体験的な学習ができる計画とします。
- 教室の出入口にはカーテンを設置し、女子児童の更衣室として利用する計画とします。



7.35m x 9.2m = 67.62m²

Scale: 1/100

2-(8)多目的ルームレイアウト

- 多目的ルームは、総合的な学習や調べ学習、習熟度別学習など多様なスタイルで学習が行えるよう、机は台形型として計画します。
- 机、イスは可動式でスタッキングできる物とし、学年集会が行えるスペースを確保します。
- 教室の壁一面にスクリーン兼ホワイトボードを設け、壁一面を電子黒板やホワイトボードとして使用し、グループワークなどの授業をより自由に行うことができる設えとします。
- 「板書」と「映像」を一体化でき、新しい授業形態をバックアップできるICT環境を整備します。
- 児童が学習教材をより身近に利用できるように図書コーナーを多目的ルームやDENなどに分散して配置できる可動のブックトラックを整備します。

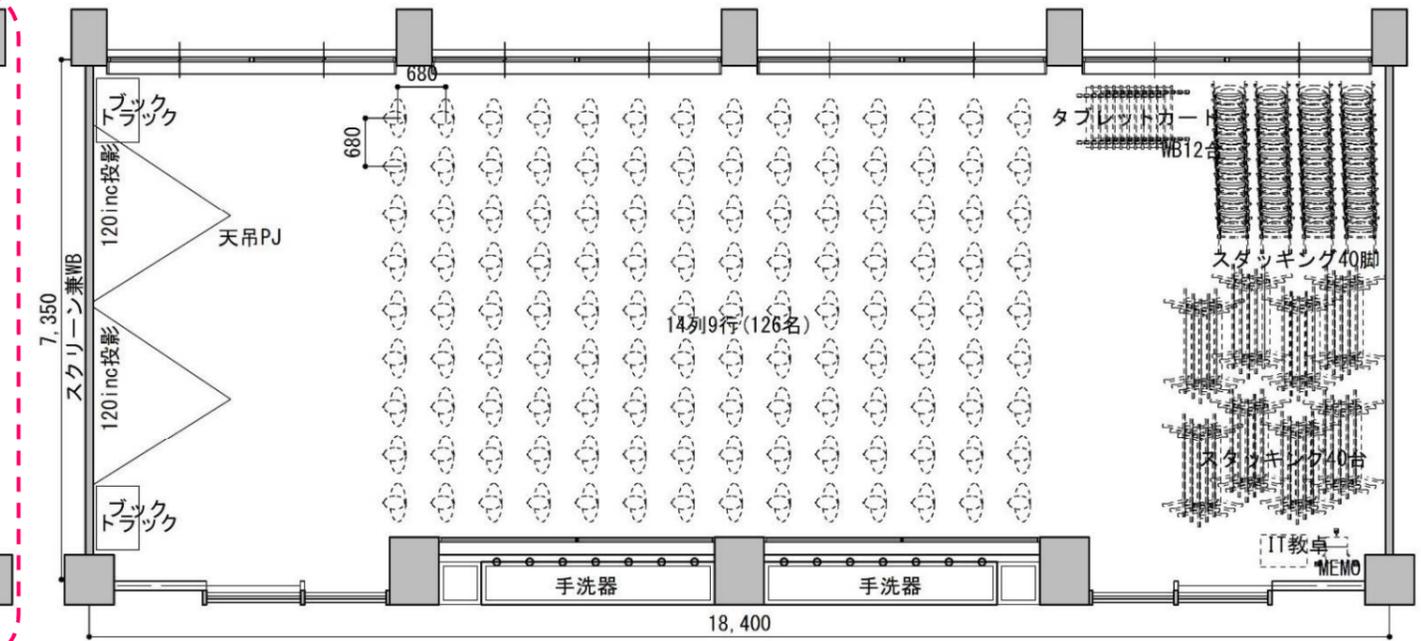
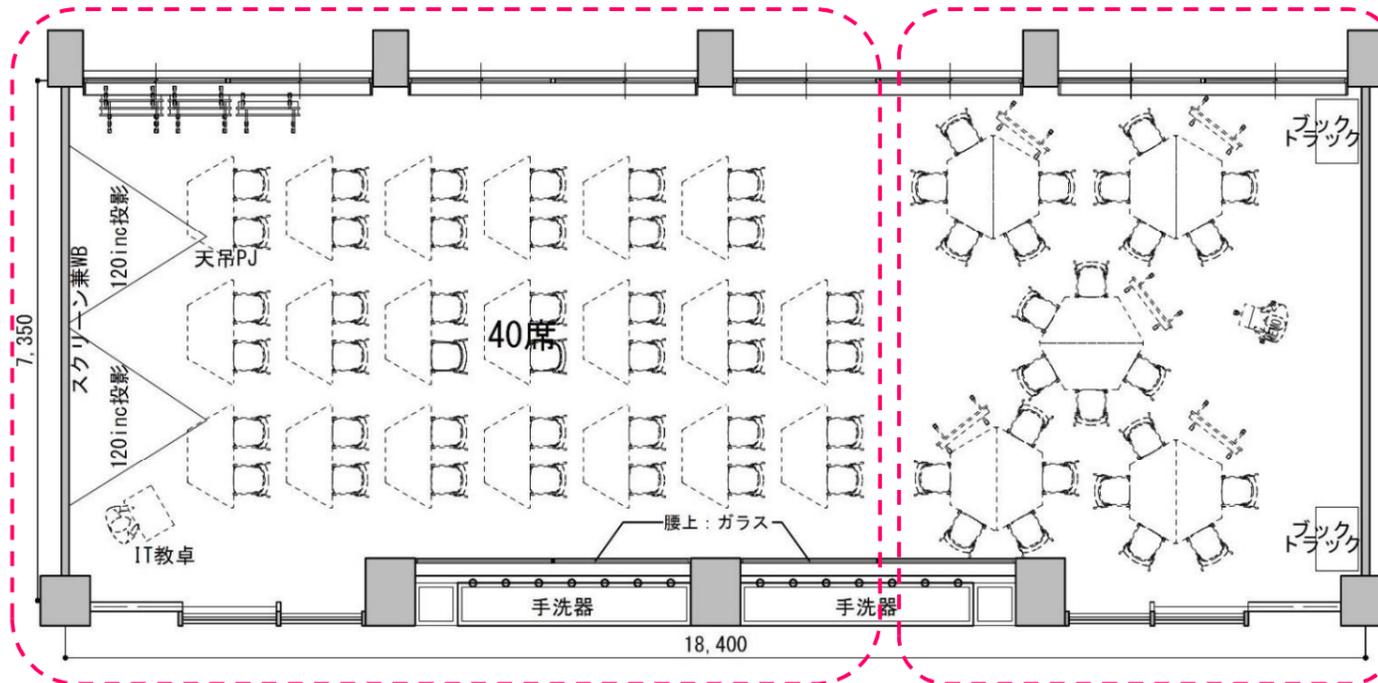


■ スクリーン兼WBのイメージ

■ 一斉授業のレイアウト

■ グループワークのレイアウト

■ 全てスタッキングした場合のレイアウト



■ 一斉授業のイメージ

■ グループワークのイメージ

■ 台形テーブルのイメージ

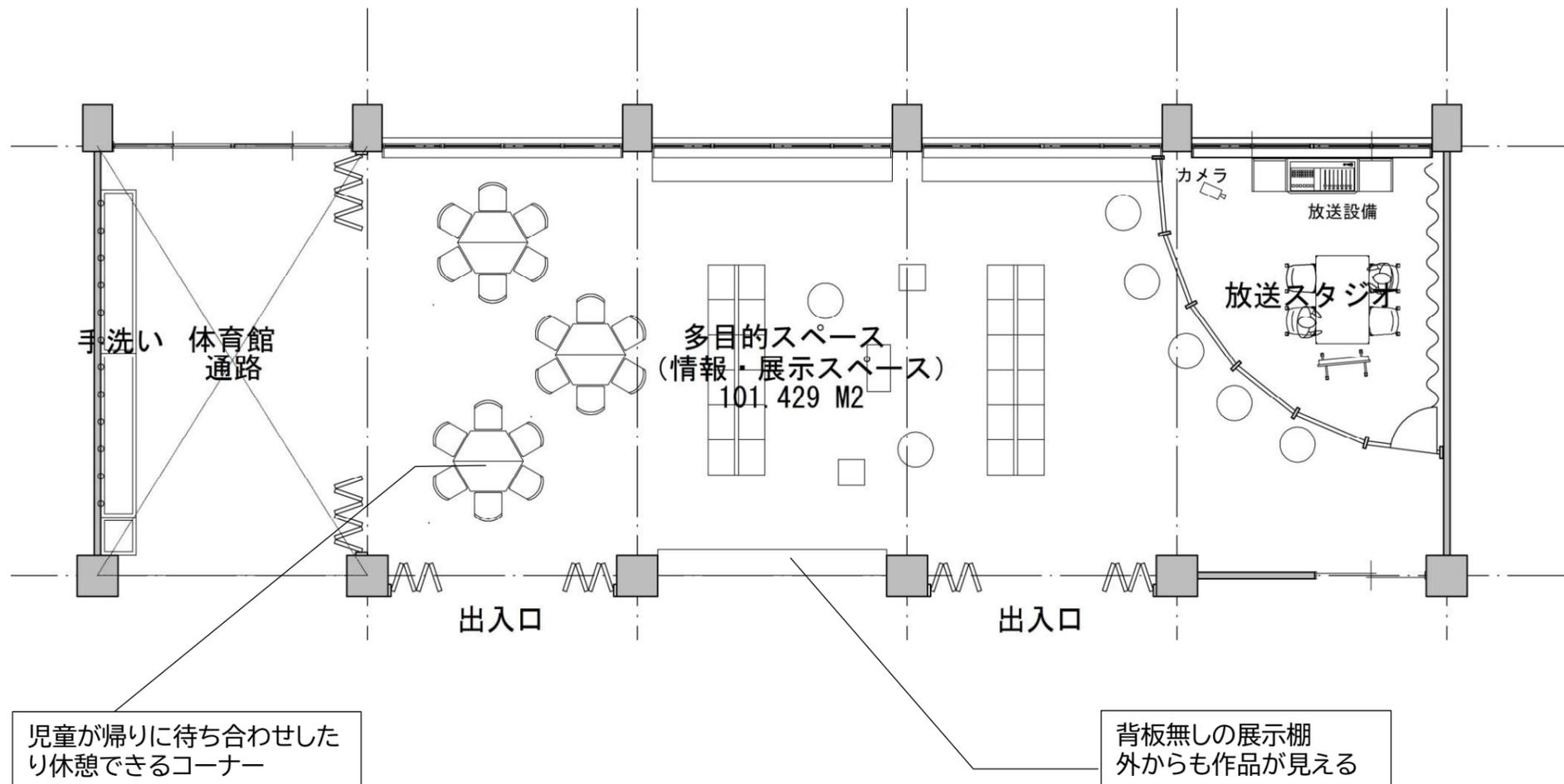
■ ブックトラック



(使用例)

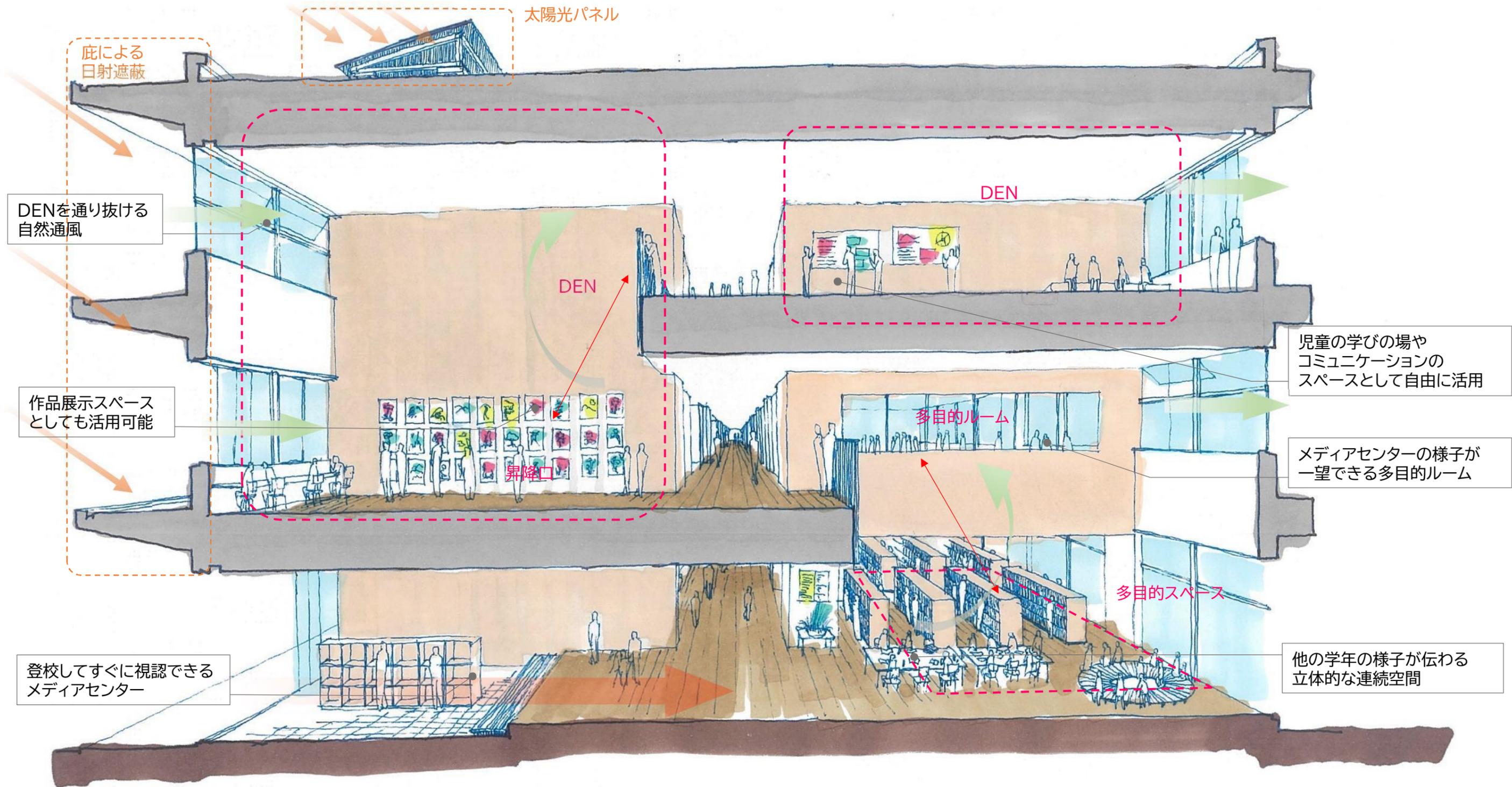
2-(9)多目的スペースレイアウト

- 児童の作品を展示したり、緑ヶ丘小学校の情報発信の核として、多目的スペースと放送スタジオを一体的に整備し、児童や来校者が利用しやすい昇降口の正面に配置します。
- 体育館通路側もオープンにできるガラス建具とすることで、遠足など催事の際の集合場所として広くスペースを活用でき、吹抜けのある開放的な空間とします。
- 児童が学習教材をより身近に利用できるように図書コーナーとして可動のブックトラックを整備します。



2-(10)DENと吹抜

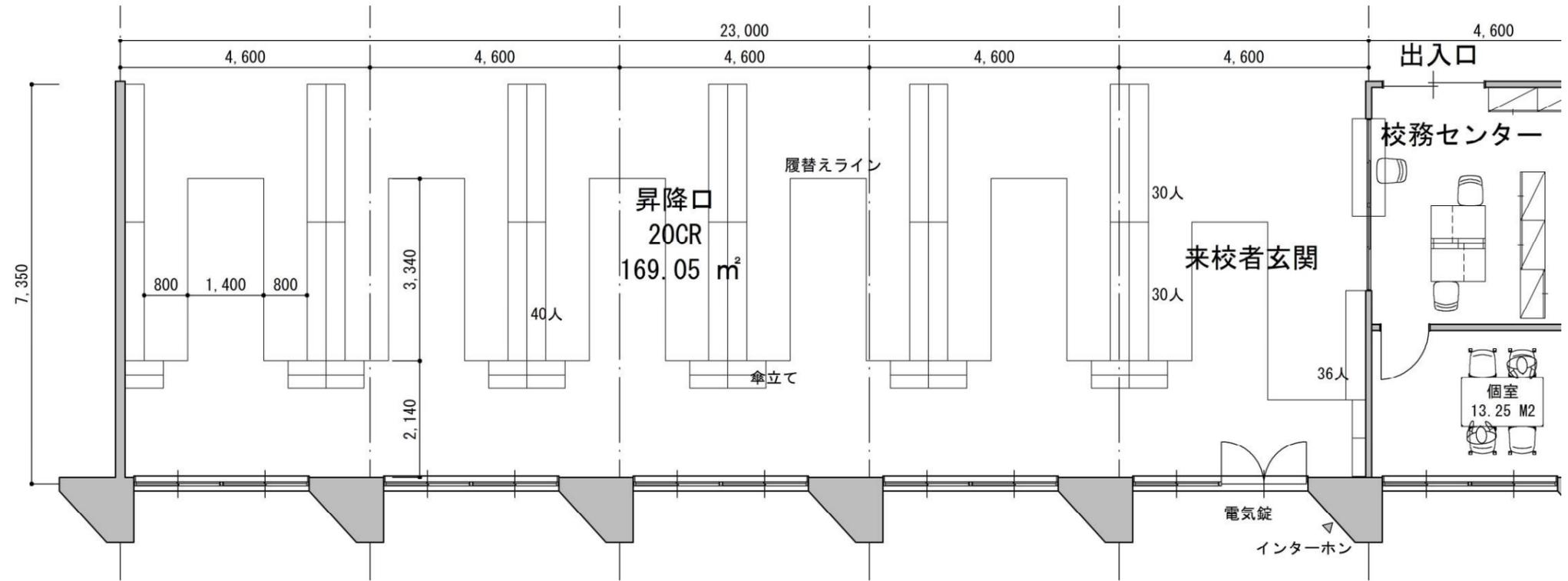
- 校舎を貫通するようにDENや吹抜を設け、自然採光や通風を確保します。
- 吹抜がステップ状に連続することで、児童の賑わいや活動の様子が伝わる有機的な学びの空間を形成します。



2-(11)昇降口レイアウト

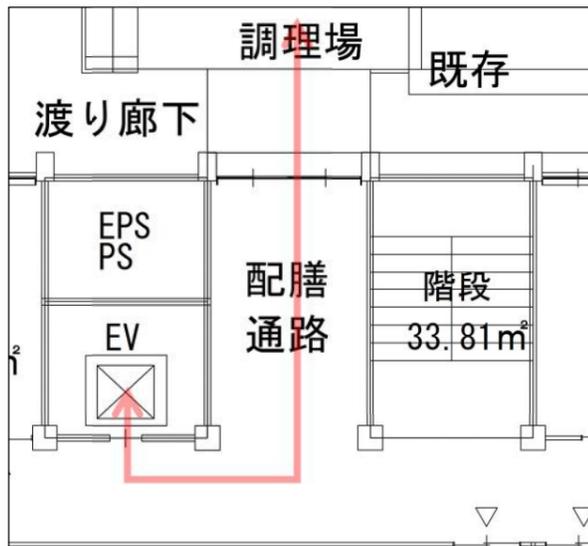
■ 昇降口レイアウト

- 40人分の下足入れを20クラス分設け、履替えラインを十分に確保することで、児童の混雑を避ける計画とします。
- 来校者玄関は校務センター側とし、職員併せて96人分収納可能な計画とします。(要望:職員63人、来客30人)
- 来校者玄関は電気錠とし、インターホンにより校務センターで解錠し、セキュリティー管理を行います。
- 校務センターから昇降口の様子が見えるように、来校者用下足入れは高さを抑えた計画とします。



■ 配膳動線

- 既存調理場から最短でアプローチできる渡り廊下と配膳通路を設けます。
- 配膳通路に隣接してエレベータを設けます。



配膳車搬送動線

■ 1F配膳動線図 1/200

■ エレベーター計画

- 新校舎には、車いす利用者等にも配慮したバリアフリー仕様とするとともに、給食配膳車の搬送も可能な乗用エレベータ(15人乗り)を設置します。
- 既存南棟は4階建てのため、車いす利用者に配慮したバリアフリー仕様の乗用エレベータ(13人乗り)を設置します。

かごイメージ	定員/積載量	15人/1000kg
	カゴ内寸法(mm)	W1600xD1500
	出入口寸法(mm)	W900xH2100
	ドア開閉方式	2枚戸両引き
	車イス利用(車イス+介添者)	バリアフリー新法・みんなのバリアフリー街づくり条例適合仕様

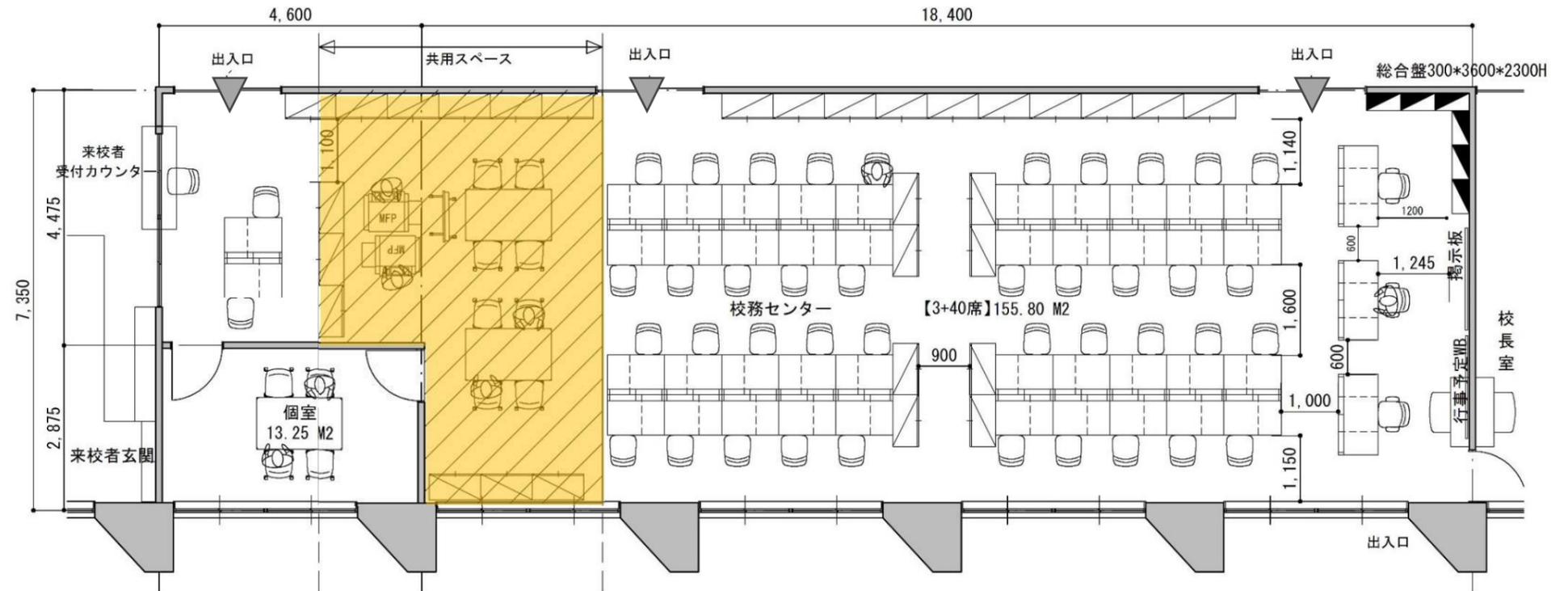
■ 新校舎に設置

かごイメージ	定員/積載量	13人/750kg
	カゴ内寸法(mm)	W1600xD1350
	出入口寸法(mm)	W900xH2100
	ドア開閉方式	2枚戸両引き
	車イス利用(車イス+介添者)	バリアフリー新法・みんなのバリアフリー街づくり条例適合仕様

■ 南棟に設置

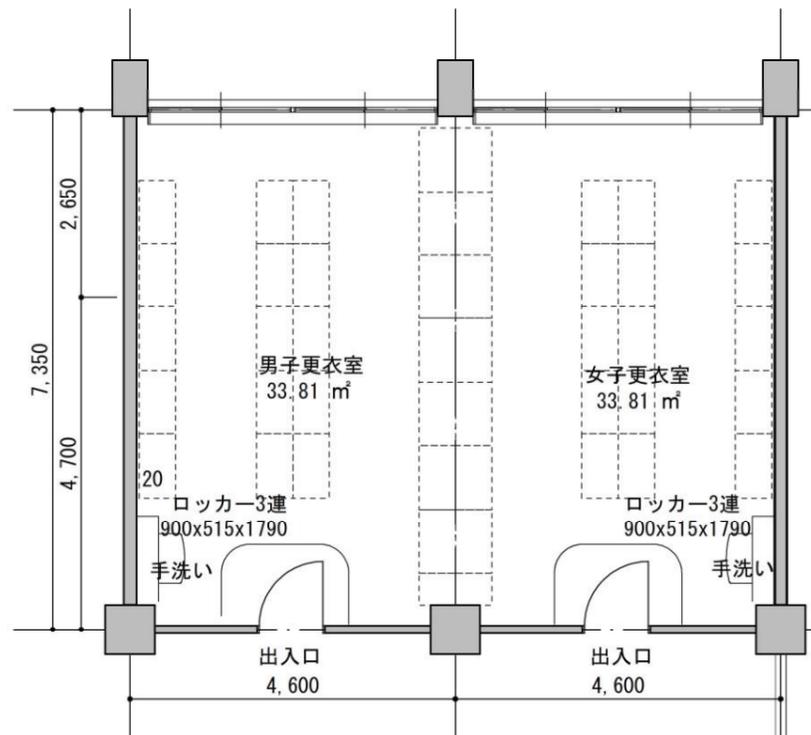
■ 校務センター

- 校務センターは事務室と職員室を一体に設け、教職員間の連携をスムーズにする計画とします。
- 事務エリアに2席、職員室エリアに40+3席のデスクが配置できる広さとします。
- 校門やグラウンドが見渡せる位置に配置し、グラウンドへの出入口を設けます。
- OAフロアとし将来フリーアドレスも可能な計画とします。
- 打合せや作業スペースを共用スペースに設け、働きやすい環境を整備します。
- 聞かれたくない会話をする際に使用できる個室を設け、個人情報に配慮した計画とします。



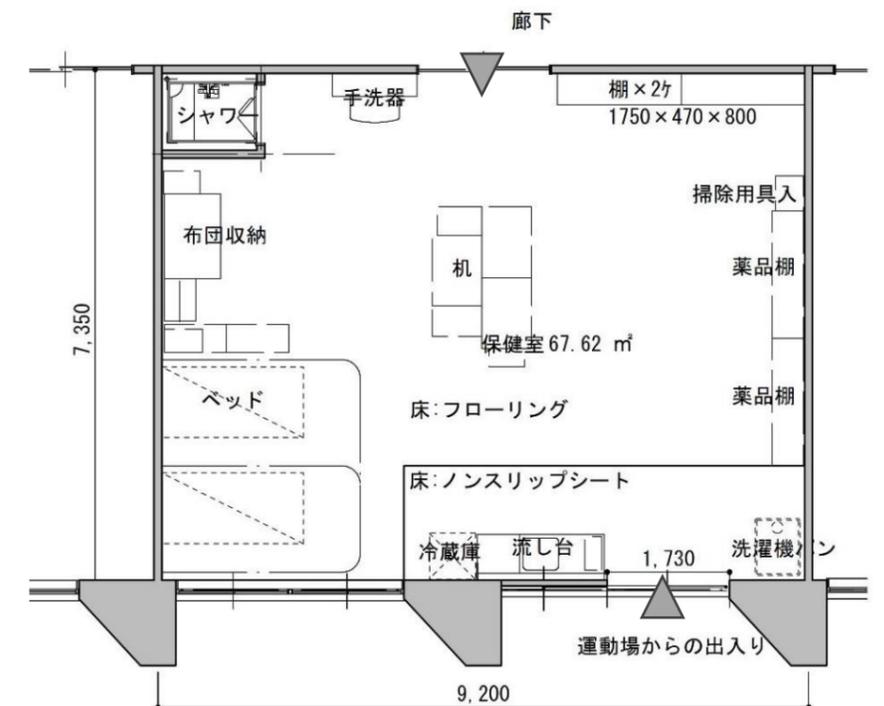
■ 職員更衣室

- 校務センターから近い位置に職員更衣室を配置します。
- 十分な職員数のロッカー男女各(3連ロッカー×20=60人分)を配置します。
- 更衣室の隣に職員休憩室を設け、体調不良の際に横になれるスペースを計画します。
- 男女間はロッカーで仕切ること、男女比に対応できる計画とします。



■ 保健室

- 昇降口に近く、運動場から直接アプローチでき、救急車が寄り付きやすい配置計画とします。
- 児童が使用するシャワーユニットを併設します。
- 内装は落ち着きのある雰囲気とし、床はフローリングとし、運動場側の水回りはノンスリップシートとします。



2-(13) WC.水廻り計画

■ 外観計画基本方針

- ・トイレは「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に沿った計画とします。
- ・1階にはLGBTQを考慮しただれでもトイレを計画します。
- ・トイレ出入口にベンチコーナーを設け、ゆとりのあるスペースとして計画します。

■ 衛生器具適正個数算定表

- ・最大利用人数を各フロア40人×10クラス=400人(男子200人、女子200人)を想定し、新設校舎と既存東棟のトイレ合算数にて、器具算定の上限値であるレベル1以上のトイレを計画します。

緑ヶ丘小学校 各階個数

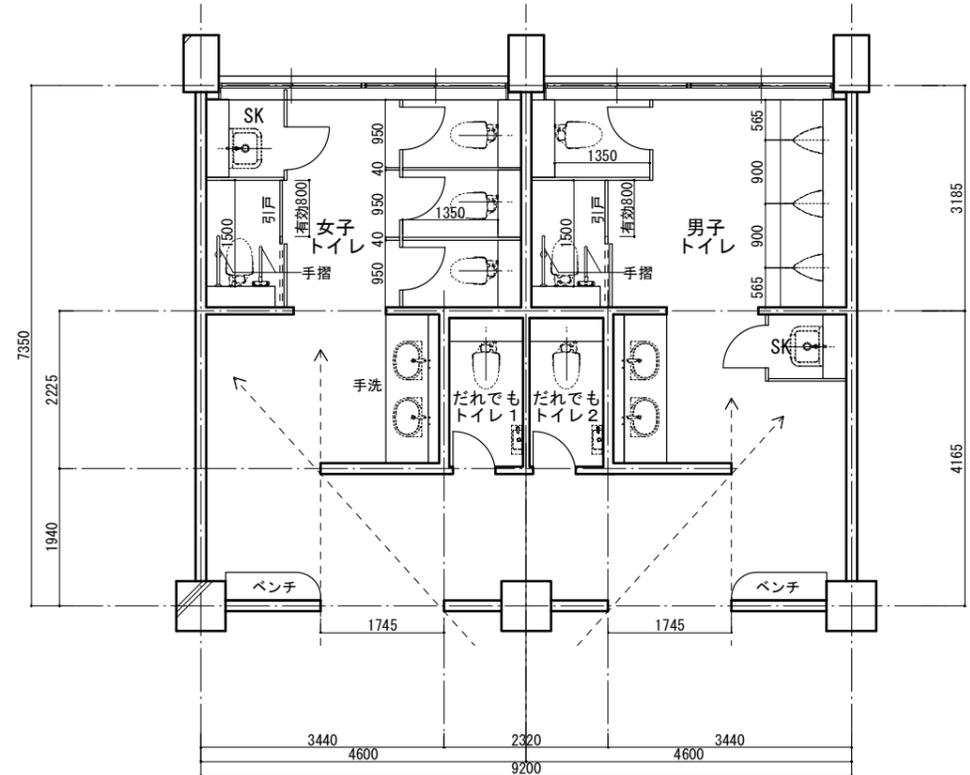
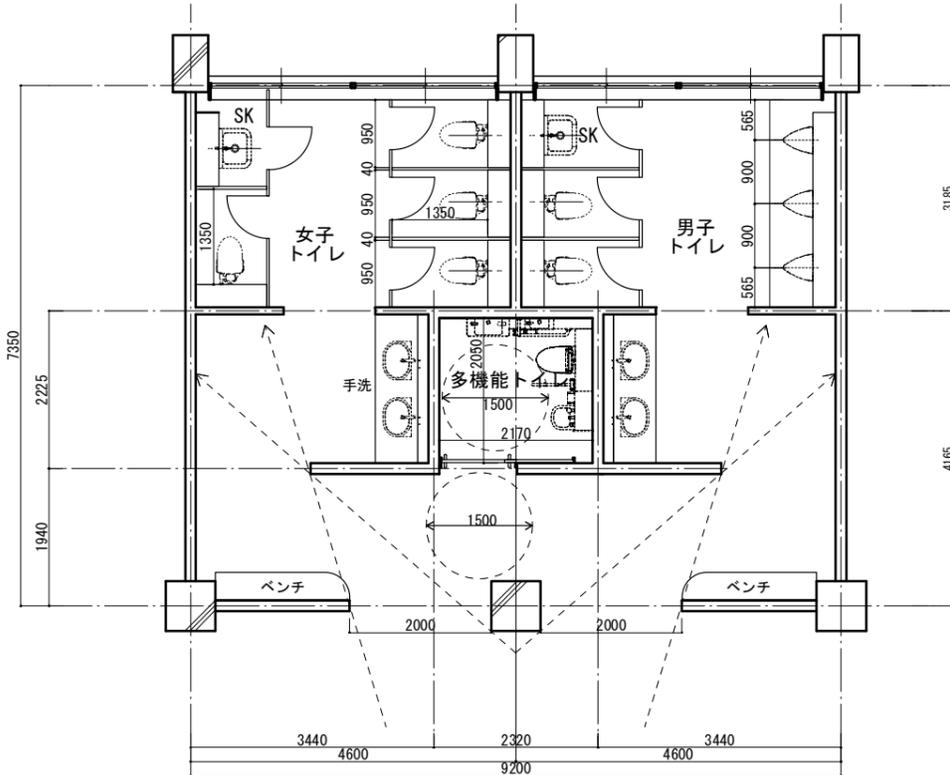
	想定人数		レベル1
男性	200	大便器	4
		小便器	8
		洗面器	3
女性	200	大便器	8
		洗面器	6

緑ヶ丘小学校 南棟2階

		図面より
男性	大便器	2
	小便器	3
	洗面器	2
女性	大便器	5
	洗面器	2

	レベル1	計画	南棟
男性	大便器	4	4
	小便器	8	6
	洗面器	3	4
女性	大便器	8	8
	洗面器	6	5
多機能トイレ		1	
だれでもトイレ		2	

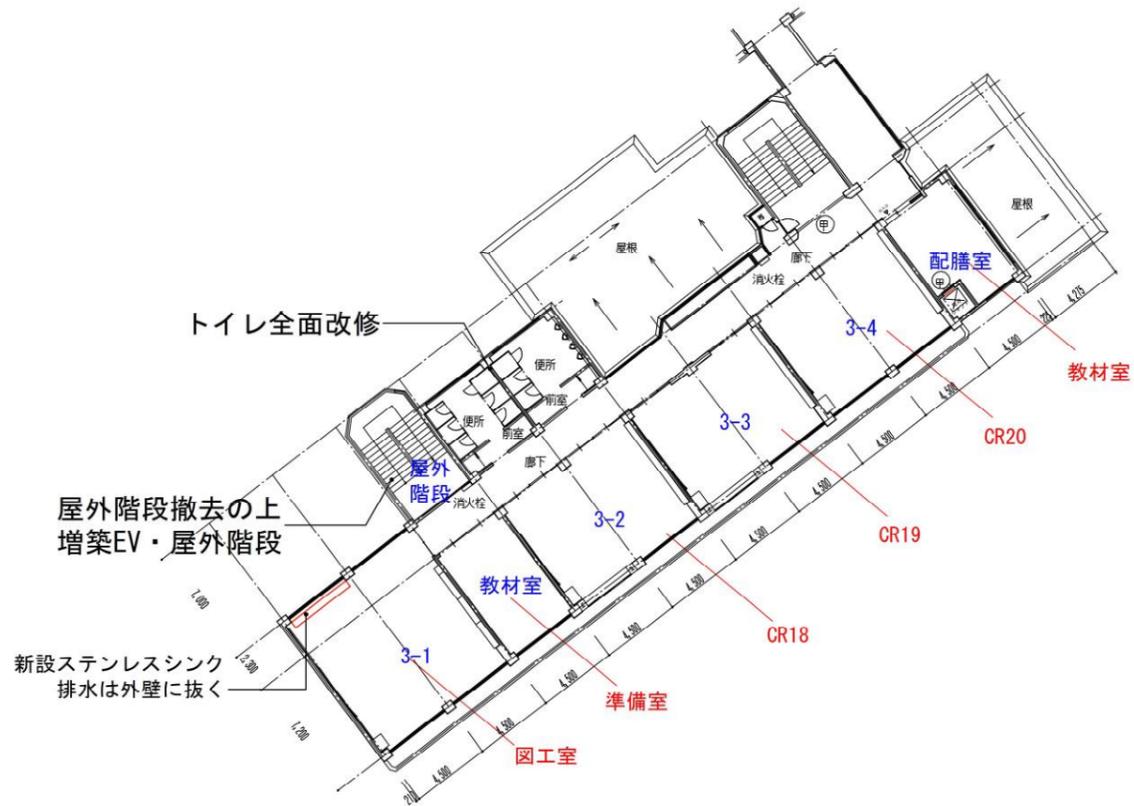
※空気調和・衛生工学会「衛生器具の適正個数算定」より



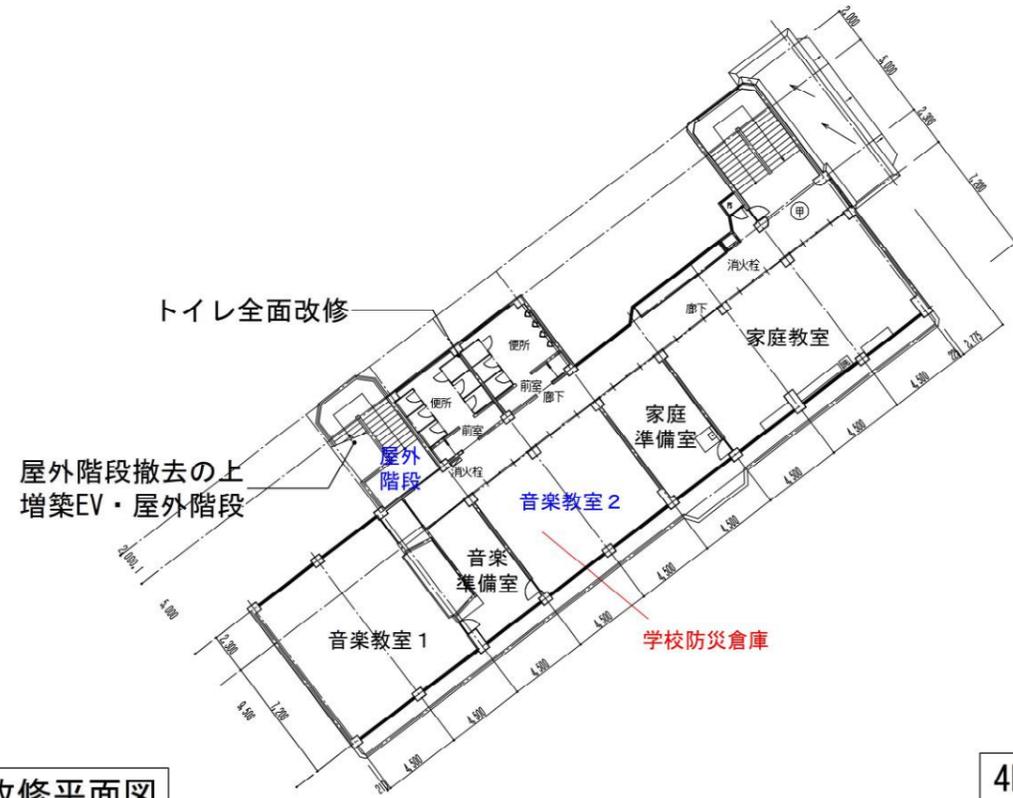
■ 多機能トイレ

■ だれでもトイレ

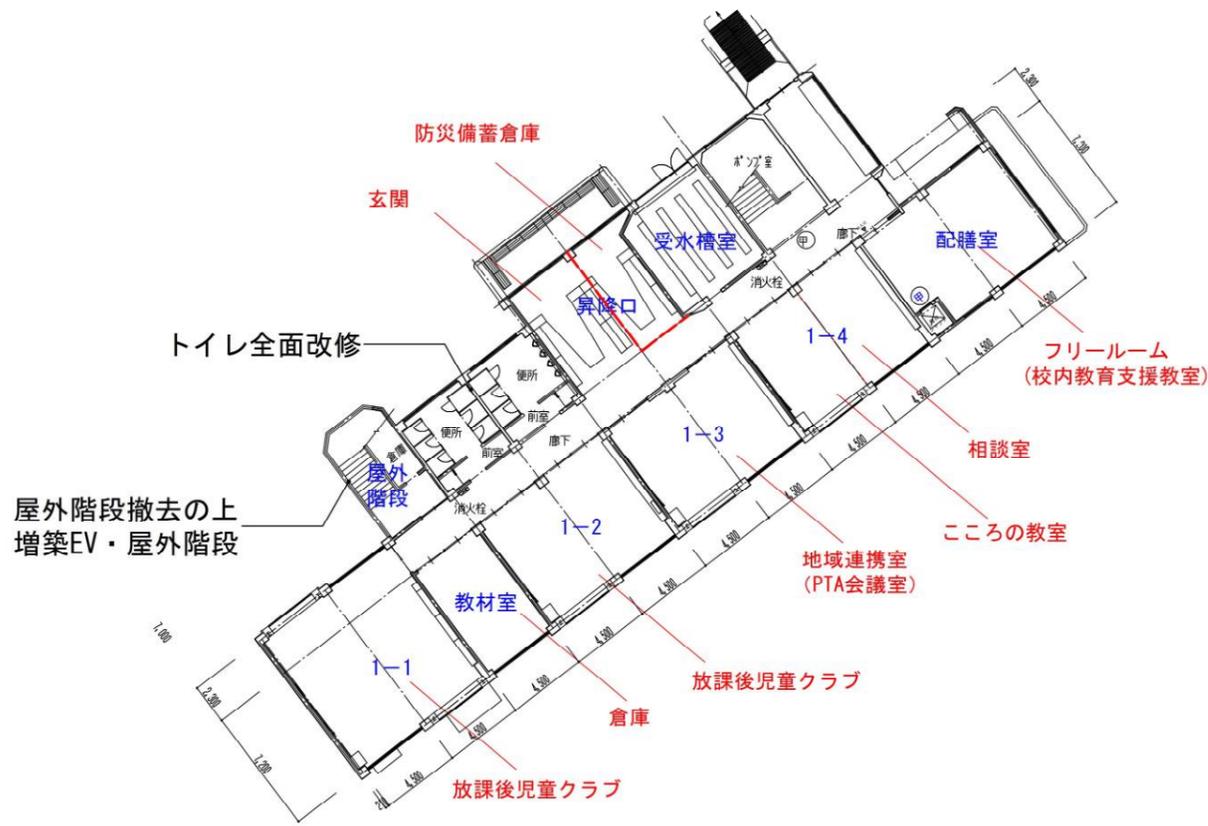
2-(14)南棟改修平面図



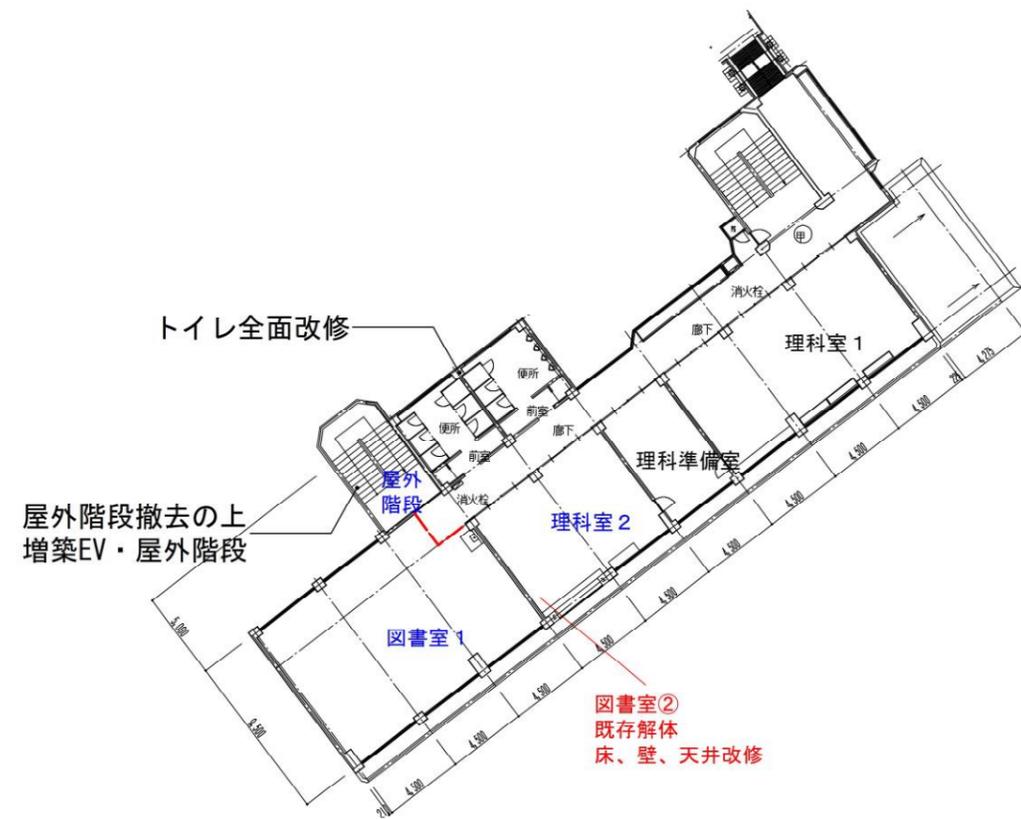
2F南棟改修平面図



4F南棟改修平面図



1F南棟改修平面図

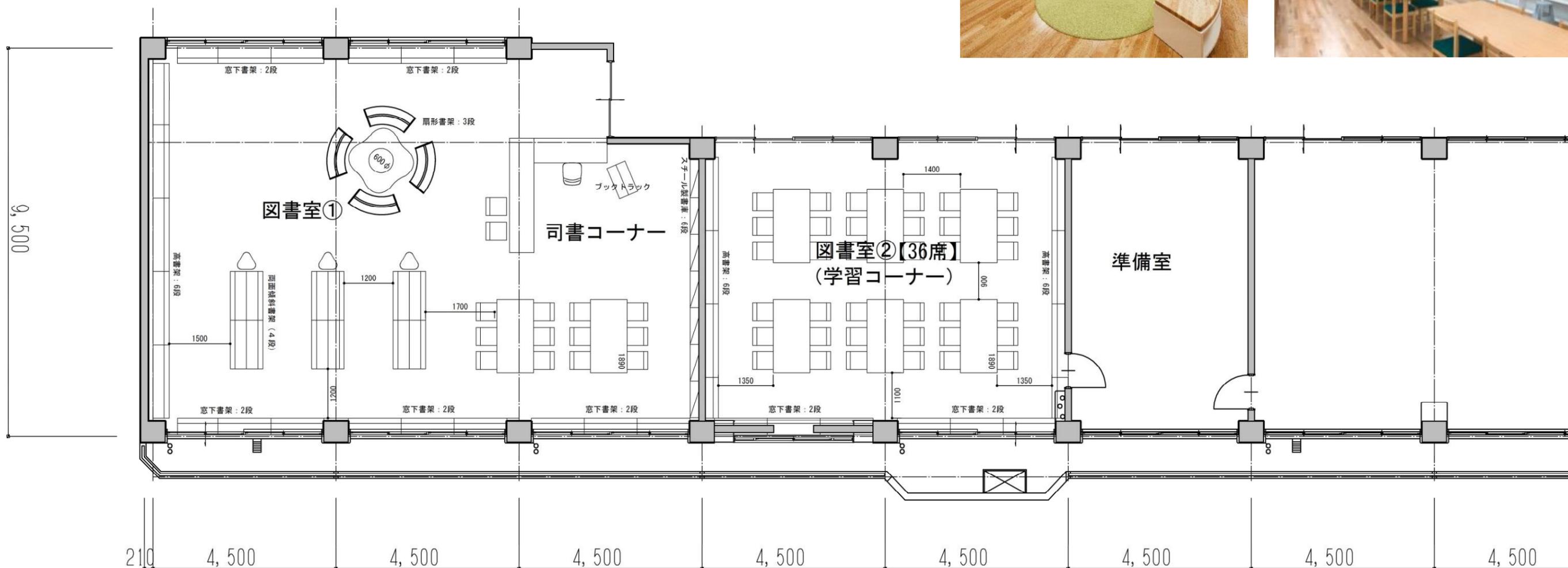


3F南棟改修平面図

- 凡例
- 黒字：既存
 - 青字：改修前
 - 赤字：改修後
 - ：新設壁

2-(15)図書室レイアウト

- 既存南棟3階の静かな環境に改修して図書室を設けます。
- 図書室①は閲覧機能を充実させ、併設した準備室は作業スペースとして利用できる計画とします。
- 図書室②はより静かに集中して読書が楽しめる部屋として整備します。
- 現学校の蔵書数は10,643冊あり、本計画では図書室①に6,524冊、図書室②に4,482冊、①②併せて11,000冊を蔵書でき、準備室は更に約1,500冊が収納可能な計画とします。



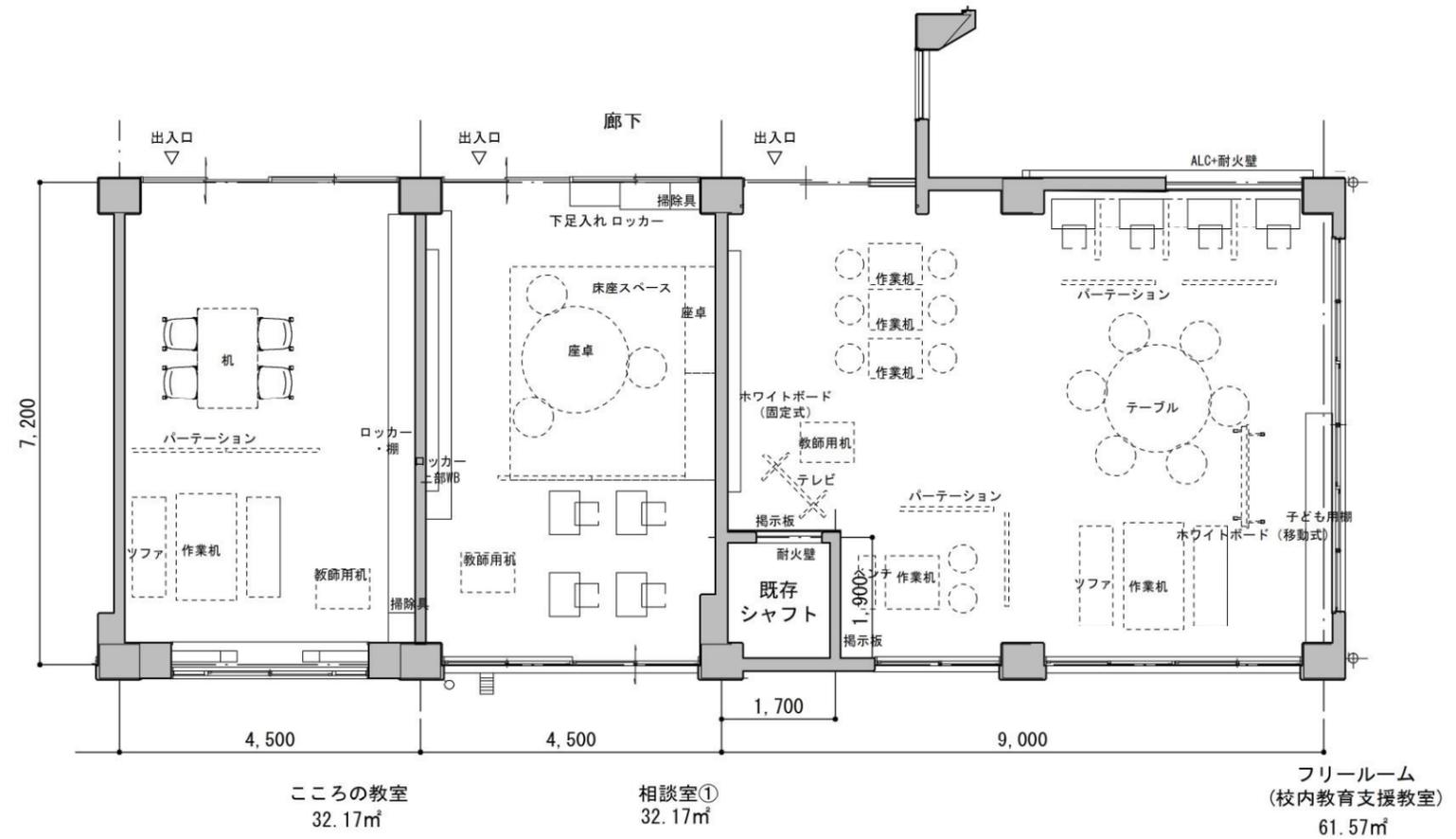
2-(16)校内不登校支援レイアウト

■ フリールーム(校内教育支援教室)

- ・ 不登校児童を支援するフリールーム(校内教育支援教室)を設ける計画とします。
- ・ 校内で他の児童との動線に考慮し、入室しやすい東棟1階に設け、外部出入口からも直接入室できる計画とします。
- ・ 個別学習や協働学習が可能で、CRとは違う雰囲気の設えとします。

■ こころの教室・相談室

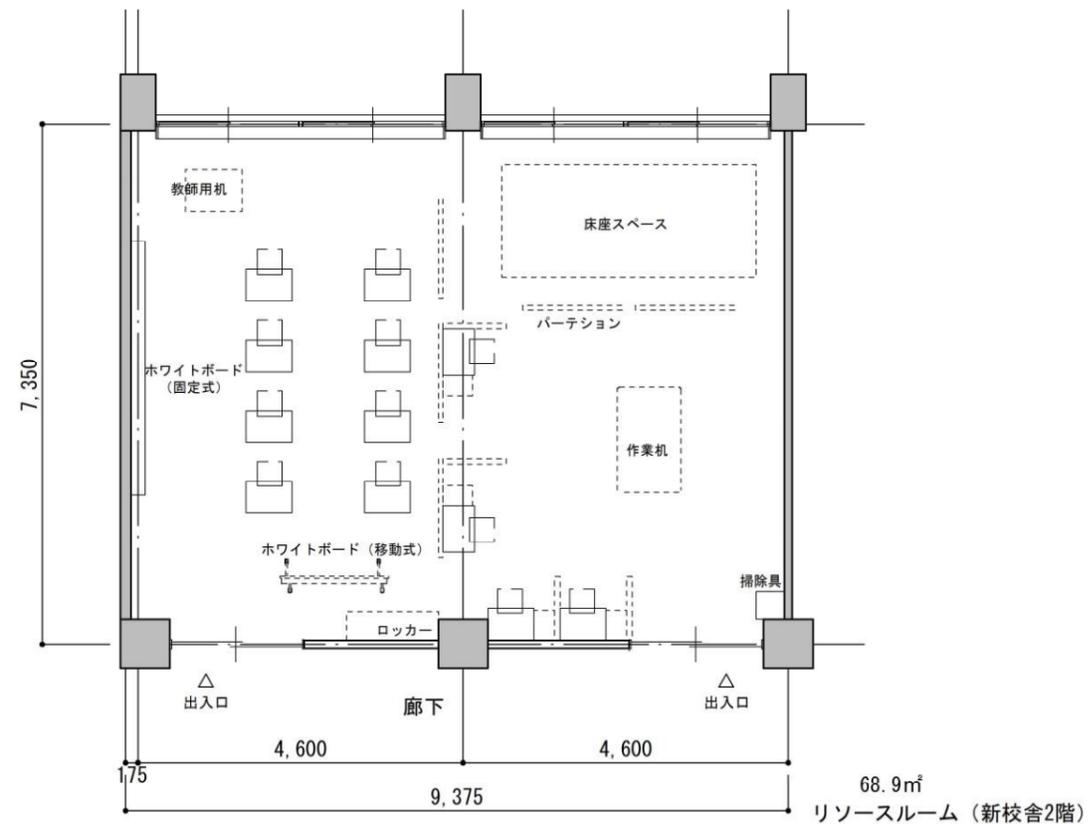
- ・ 児童の抱える悩みや不安に関する相談等を行うこころの教室・相談室を設ける計画とします。
- ・ フリールーム(校内教育支援教室)の近くに配置する計画とします。



南棟1階

■ リソースルーム

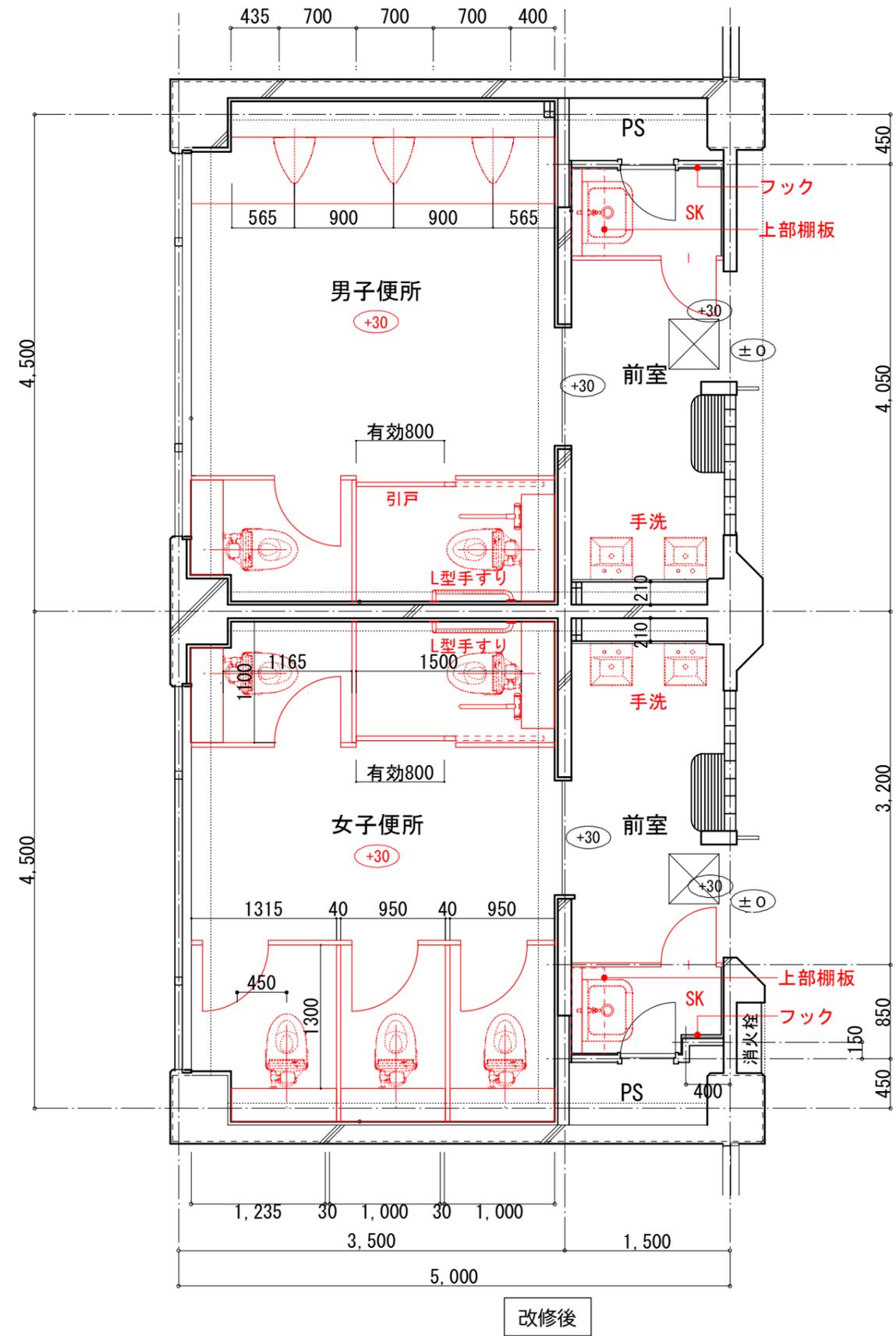
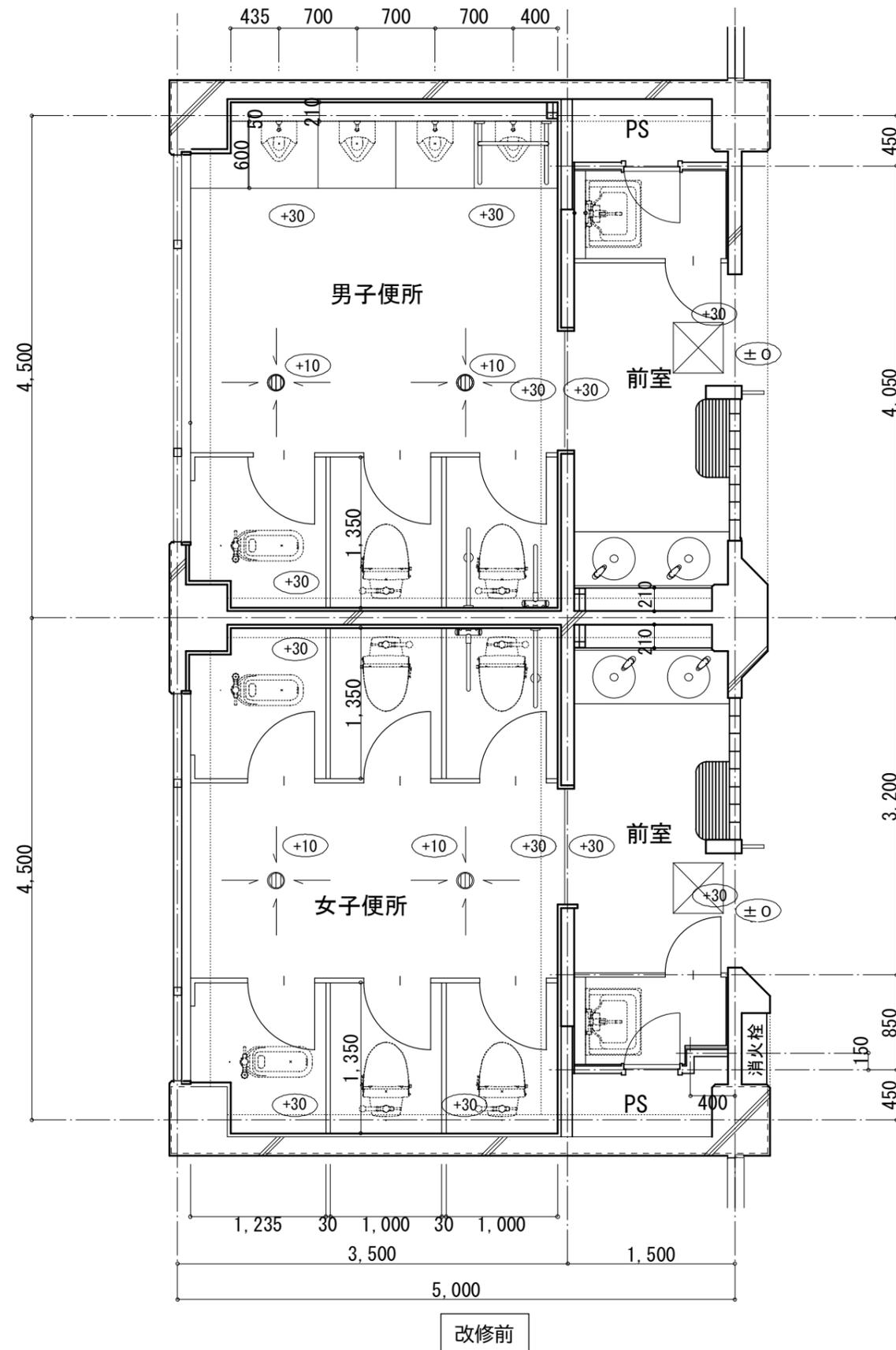
- ・ 児童の個の特性に応じた学習支援等が行えるよう、リソースルームを整備します。
- ・ CRとは違う設えとし、集団学習や作業、床座スペースや個別ブーススペース等、個々の状況に合わせて自由にレイアウトできる計画とします。



新校舎2階

2-(17)改修WCLレイアウト

- 既存南棟の1階～4階トイレを「街づくり」に対応させる計画とします。
- 湿式トイレを乾式とし、段差のないトイレとします。



3-(1)外構計画

■ メインアプローチとなる笑顔の道

- ・ 東側正門から昇降口を結ぶアプローチをインターロッキング舗装の「笑顔の道」として整備します。
- ・ 笑顔の道に面して花壇を設け、みど小ガーデンの記憶を継承します。
- ・ インターロッキング舗装部は車が乗り入れても良い車道用の舗装とします。

■ 安全で利便性の高いロータリー周り

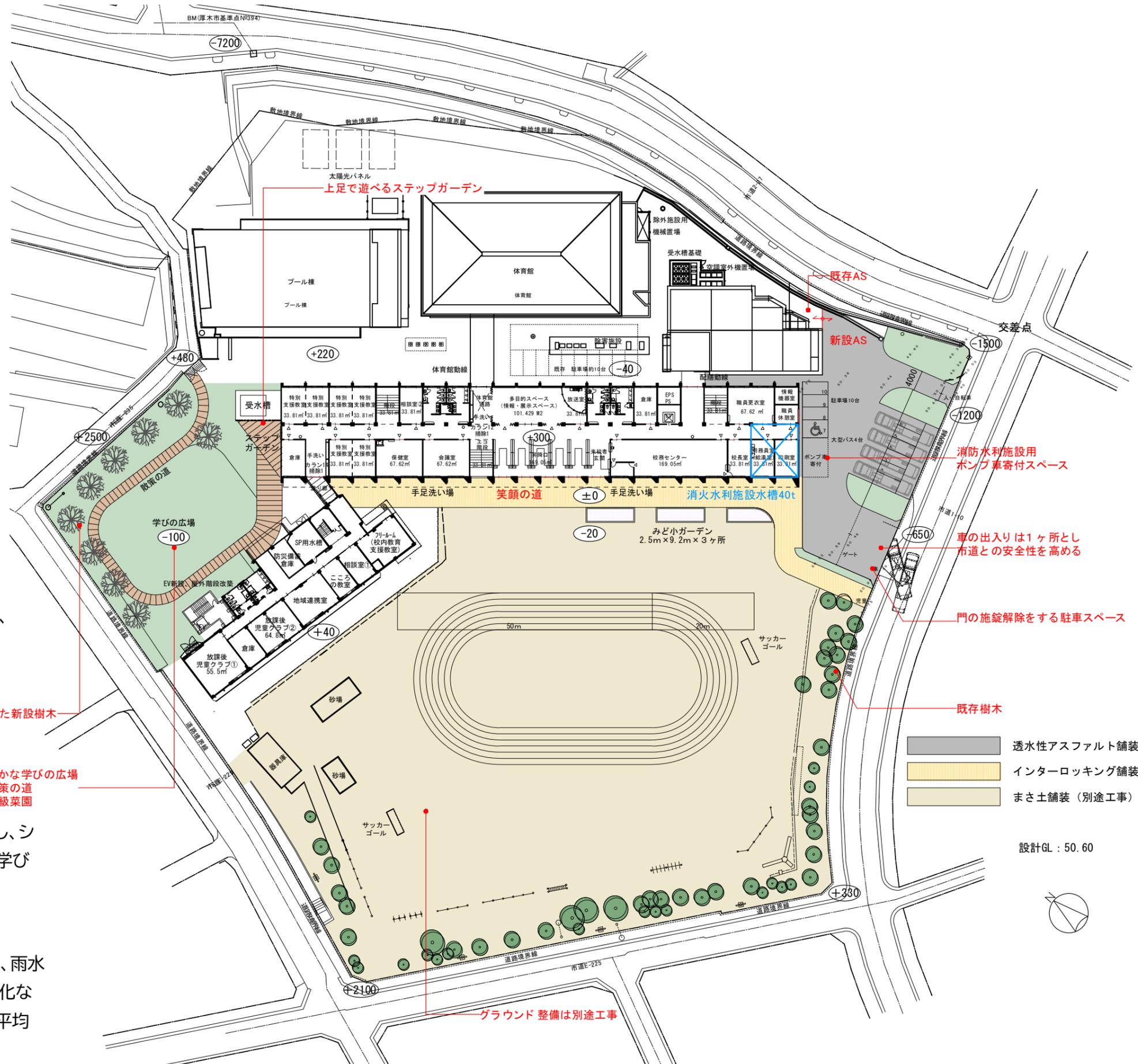
- ・ 車両の出入口が交差点に近く、危険性であった現状の課題を解決するため、正門から安全に車両が出入りできるロータリーを整備します。
- ・ 車道と歩道は分離し、車道は大型バスが出入りできるゆとりの巾にて計画し、ゲートはセットバックすることで、門の施錠する際の駐車スペースを確保します。
- ・ 交差点を外した位置に通用門を設け、原則、歩行者と限定された車両のみの出入りとし、歩車の安全に配慮した計画とします。
- ・ 催事時の大型バス4台の駐車スペースを確保すると共に、10台分の来校者駐車場を整備します。

■ 緑化計画

- ・ 「厚木市緑を豊かにする事業推進要綱」より敷地の10%以上を緑化する計画とし、緑の保全および緑化を図ります。
- ・ 既存正門の自然豊かな環境を継承し、西棟跡地を活用し、シンボルツリー、花壇や学園菜園など自然と共生できる「学びの広場」として整備します。

■ 排水施設計画

- ・ 「厚木市雨水施設設置基準」より敷地内の排水について、雨水浸透柵や雨水浸透トレンチ、透水性舗装、地表面の緑地化など、雨水浸透施設計算(厚木市下水道総務課)における平均流出係数が0.5以下となる計画とします。



3-(2) 地域交流、防災計画、セキュリティ計画

■ 地域交流

- ・ 地域連携室は夜間や土日祝日に地域開放でき、地域と学校の連携・協働の拠点として計画します。
- ・ 南棟1階トイレは地域連携室利用者やイベント時に利用できるトイレとして整備します。

■ 防災計画

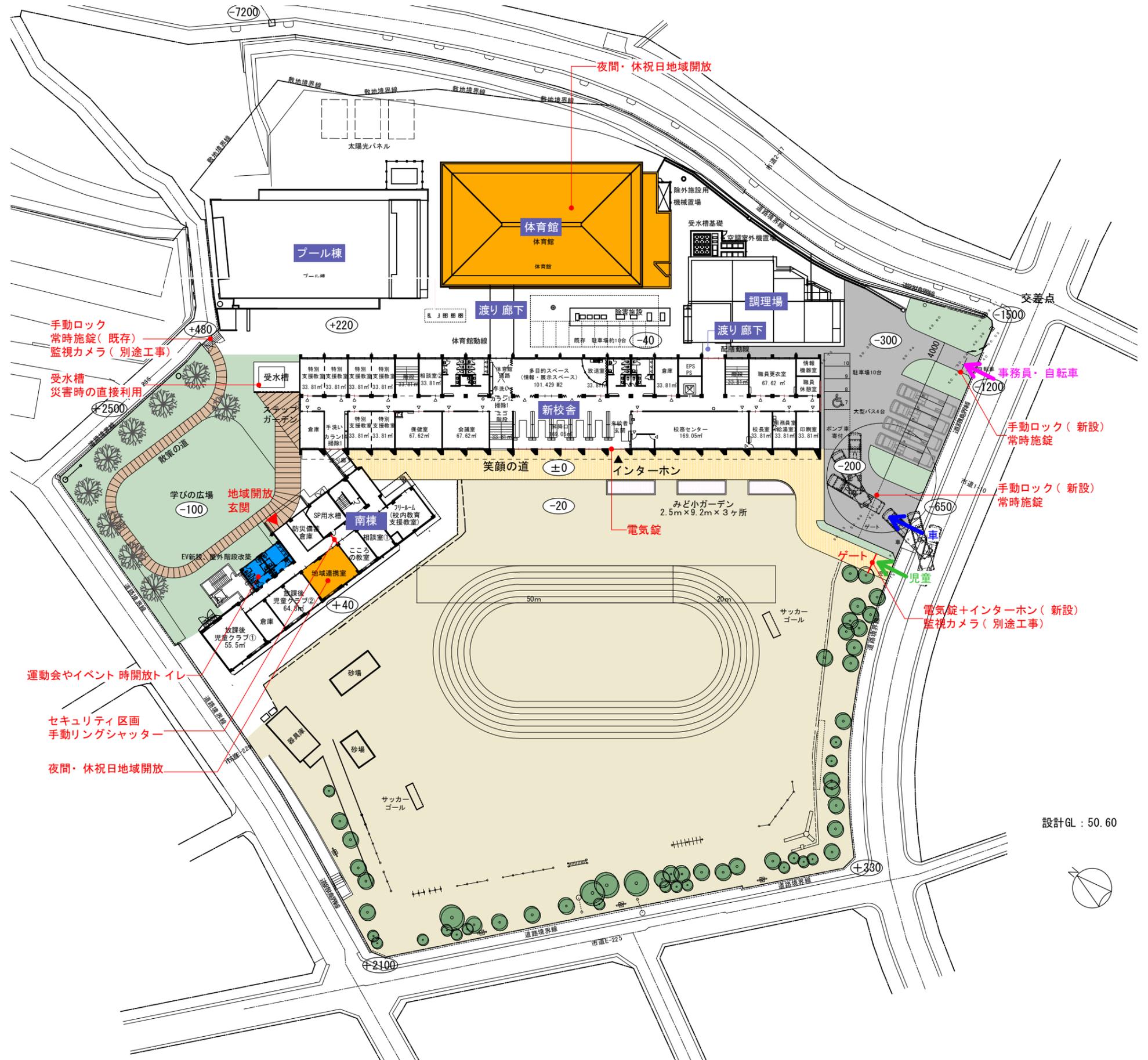
- ・ 新校舎には普通教室や管理諸室を中心に配置し、南棟には特別教室、地域連携室やフリールーム(校内教育支援教室)などを配置し、災害時は体育館と南棟を避難施設として開放し、新校舎は学校として早期に使用できる計画とします。
- ・ 防災備蓄倉庫は、南棟の1階に設置し、外部から出入りが出来る計画とします。

■ セキュリティ計画

- ・ 地域連携室から上階へ行けないよう、手動リングシャッターによりセキュリティ区画します。また地域開放する地域連携室やトイレ利用者の玄関は学びの広場側に限定します。
- ・ 来校者玄関は電気錠とし、インターホンにより管理します。

■ 太陽光発電

- ・ 太陽光と蓄電池を整備し、災害時に校務センターと避難所となる南棟に電気(照明・コンセント)を供給できる計画とします。



設計GL : 50.60